

CC-Link IEフィールドネットワークアナログ-デジタル変換ユニット/デジタル-アナログ変換ユニットからCC-Link IE TSN アナログ-デジタル変換ユニット/デジタル-アナログ変換ユニット(CC-Link IEフィールドネットワーク通信モード)への置換え手順

■発行

2026年1月

■適用機種

NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8, NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8, NZ2EX2B-60AD4, NZ2EX2B-60DA4

三菱電機汎用シーケンサに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本テクニカルニュースでは、CC-Link IEフィールドネットワークアナログ-デジタル変換ユニット/デジタル-アナログ変換ユニットからCC-Link IE TSN アナログ-デジタル変換ユニット/デジタル-アナログ変換ユニット(CC-Link IEフィールドネットワーク通信モード)への置換え手順をご説明させていただきます。つきましては、置換え機種への変更をご検討いただきますようお願い申し上げます。

目次

1	置換え時の注意事項	3
2	用語の定義	3
3	置換え機種	4
3.1	置換え機種一覧	4
	基本 A/D 変換ユニット	4
	基本 D/A 変換ユニット	4
	増設 A/D 変換ユニット	4
	増設 D/A 変換ユニット	4
3.2	仕様比較	5
	基本 A/D 変換ユニット	5
	基本 D/A 変換ユニット	6
	増設 A/D 変換ユニット	7
	増設 D/A 変換ユニット	8
3.3	ユニットサイズ比較	9
	基本ユニット	9
	増設ユニット	9
3.4	端子台の適合圧着端子	9
	基本ユニット	9
	増設ユニット	10
3.5	機能比較	11
	基本 A/D 変換ユニット	11
	基本 D/A 変換ユニット	12
	増設 A/D 変換ユニット	13
	増設 D/A 変換ユニット	14
3.6	リンクデバイス比較 (RX, RY, RWr, RWw)	16
	基本 A/D 変換ユニット	16
	基本 D/A 変換ユニット	19
	増設 A/D 変換ユニット	22
	増設 D/A 変換ユニット	30

FA-D-0477-A

3.7	リモートバッファメモリ比較	37
	基本 A/D 変換ユニット	37
	基本 D/A 変換ユニット	39
	増設 A/D 変換ユニット	41
	増設 D/A 変換ユニット	44
4	ユニット置換え手順	47
4.1	IP アドレス / 局番設定スイッチによる局番設定	48
4.2	機能設定スイッチによる機能設定	49
4.3	ケーブルの再配線	50
4.4	パラメータとプログラムの変更	50
	ネットワーク構成設定の変更	50
	ユニットパラメータの変更	53
	プログラムの変更	54
	改訂履歴	54
	商標	54

FA-D-0477-A

1 置換え時の注意事項

- A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットの置換えを行うときは、必ず各ユニットのマニュアルを参照いただき、機能、仕様、接地方法、使い方を確認してから使用してください。
- 📖 CC-Link IEフィールドネットワークアナログ-デジタル変換ユニット(e-CONタイプ)ユーザーズマニュアル(SH-081709)
- 📖 CC-Link IEフィールドネットワークデジタル-アナログ変換ユニット(e-CONタイプ)ユーザーズマニュアル(SH-081711)
- 📖 CC-Link IEフィールドネットワークアナログ-デジタル変換ユニットユーザーズマニュアル(SH-081450)
- 📖 CC-Link IEフィールドネットワークデジタル-アナログ変換ユニットユーザーズマニュアル(SH-081452)
- 📖 CC-Link IE TSNアナログ-デジタル変換ユニットユーザーズマニュアル(CC-Link IEフィールドネットワーク通信モード編)(SH-082235)
- 📖 CC-Link IE TSNデジタル-アナログ変換ユニットユーザーズマニュアル(CC-Link IEフィールドネットワーク通信モード編)(SH-082237)
- A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットの置換えを行ったときは、必ずシステム全体の動作確認を行ってから本稼動に移行してください。
- 置換えを実施する場合は、下記のバージョンを使用してください。

形名	ファームウェアバージョン	ソフトウェアバージョン*2	
		GX Works3	GX Works2
NZ2GN2S-60AD4, NZ2GN2B-60AD4	02以降*1	1.060N以降	1.590Q以降
NZ2GN2S-60DA4, NZ2GN2B-60DA4			

*1 製造情報の上2桁が工場出荷時のファームウェアバージョンを示します。また、本ユニットはファームウェアアップデートも可能です。詳細はマニュアルを参照してください。

*2 置換え後のA/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットを診断するために必要なバージョンです。

Point

置換えの前に、シーケンサシステムのFGが確実に大地へ接地されていることを再度確認してください。シーケンサはEMC対策としてノイズをFG経由で大地へ逃がすことで、ノイズ耐量を確保しています。そのため、接地が不十分である場合は構成システムの変更により、ノイズの影響を受ける可能性があります。また、接地状況の確認が困難な場合は、暫定処置として下記を検討してください。

- シーケンサシステムの接地を専用接地に変更する。
- 接地線、ユニットFG端子間にフェライトコアを追加する。

2 用語の定義

総称	内容
A/D変換ユニット	基本アナログ-デジタル変換ユニット、増設アナログ-デジタル変換ユニットの総称です。
D/A変換ユニット	基本デジタル-アナログ変換ユニット、増設デジタル-アナログ変換ユニットの総称です。
基本ユニット	基本アナログ-デジタル変換ユニット、基本デジタル-アナログ変換ユニットの総称です。
基本A/D変換ユニット	8チャンネルのNZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8, 4チャンネルのNZ2GN2S-60AD4, NZ2GN2B-60AD4の総称です。
基本D/A変換ユニット	8チャンネルのNZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8, 4チャンネルのNZ2GN2S-60DA4, NZ2GN2B-60DA4の総称です。
増設ユニット	増設アナログ-デジタル変換ユニット、増設デジタル-アナログ変換ユニットの総称です。
増設A/D変換ユニット	4チャンネルのNZ2EX2B-60AD4を示します。
増設D/A変換ユニット	4チャンネルのNZ2EX2B-60DA4を示します。

3 置換え機種

3.1 置換え機種一覧

基本A/D変換ユニット

基本A/D変換ユニット(8チャンネル)は、基本A/D変換ユニット(4チャンネル)2台に置き換えてください。

置換え元				置換え先			
CC-Link IEフィールドネットワークA/D変換ユニット				CC-Link IE TSN A/D変換ユニット			
ユニット名称		チャンネル数	形名	ユニットタイプ	チャンネル数	形名	制約事項
電圧入力ユニット	e-CONタイプ	8	NZ2GFCE-60ADV8	スプリング端子台タイプ	4	NZ2GN2S-60AD4	2台を使用
電流入力ユニット	e-CONタイプ	8	NZ2GFCE-60ADI8	スプリング端子台タイプ	4	NZ2GN2S-60AD4	2台を使用

基本D/A変換ユニット

基本D/A変換ユニット(8チャンネル)は、基本D/A変換ユニット(4チャンネル)2台に置き換えてください。

置換え元				置換え先			
CC-Link IEフィールドネットワークD/A変換ユニット				CC-Link IE TSN D/A変換ユニット			
ユニット名称		チャンネル数	形名	ユニットタイプ	チャンネル数	形名	制約事項
電圧出力ユニット	e-CONタイプ	8	NZ2GFCE-60DAV8	スプリング端子台タイプ	4	NZ2GN2S-60DA4	2台を使用
電流出力ユニット	e-CONタイプ	8	NZ2GFCE-60DAI8	スプリング端子台タイプ	4	NZ2GN2S-60DA4	2台を使用

増設A/D変換ユニット

増設A/D変換ユニット(4チャンネル)は、基本A/D変換ユニット(4チャンネル)に置き換えてください。

置換え元				置換え先			
CC-Link IEフィールドネットワークA/D変換ユニット				CC-Link IE TSN A/D変換ユニット			
ユニット名称		チャンネル数	形名	ユニットタイプ	チャンネル数	形名	制約事項
電圧・電流入力ユニット	ネジ端子台タイプ	4	NZ2EX2B-60AD4	ネジ端子台タイプ	4	NZ2GN2B-60AD4	—

増設D/A変換ユニット

増設D/A変換ユニット(4チャンネル)は、基本D/A変換ユニット(4チャンネル)に置き換えてください。

置換え元				置換え先			
CC-Link IEフィールドネットワークD/A変換ユニット				CC-Link IE TSN D/A変換ユニット			
ユニット名称		チャンネル数	形名	ユニットタイプ	チャンネル数	形名	制約事項
電圧・電流出力ユニット	ネジ端子台タイプ	4	NZ2EX2B-60DA4	ネジ端子台タイプ	4	NZ2GN2B-60DA4	—

FA-D-0477-A

3.2 仕様比較

基本A/D変換ユニット

項目	置換え元				置換え先				置換え時の留意点
	NZ2GFCE-60ADV8		NZ2GFCE-60ADI8		NZ2GN2S-60AD4				
局種別	リモートデバイス局				リモートデバイス局				—
アナログ入力点数	8点(8チャンネル)/1ユニット				4点(4チャンネル)/1ユニット				5点以上使用時は2台必要です。
アナログ入力	電圧: DC-10~10V (入力抵抗値: 1M Ω)		電流: DC0~20mA (入力抵抗値: 250 Ω)		電圧: DC-10~10V (入力抵抗値: 1M Ω) 電流: DC0~20mA (入力抵抗値: 250 Ω)				—
入出力特性, 最大分解能	入力	入力レンジ	デジタル出力値	最大分解能	入力	入力レンジ	デジタル出力値	最大分解能	
	電圧 (NZ2GFCE-60ADV8)	-10~10V	-16000~16000	—	電圧 (NZ2GN2S-60AD4)	-10~10V	-16000~16000	0.625mV	
		0~5V		—		0~10V		0.625mV	
		1~5V		0.3125mV		0~5V		0.3125mV	
	電流 (NZ2GFCE-60ADI8)	0~20mA	0~16000	1.25 μ A	電流 (NZ2GN2S-60AD4)	0~20mA	0~16000	1.25 μ A	
4~20mA		1 μ A		4~20mA		1 μ A			
変換精度	周囲温度(25 \pm 5 $^{\circ}$ C): \pm 0.2% 周囲温度(0~55 $^{\circ}$ C): \pm 0.3%				周囲温度(25 \pm 5 $^{\circ}$ C): \pm 0.1% 周囲温度(0~55 $^{\circ}$ C): \pm 0.2%				
変換速度	1ms/チャンネル				200 μ s/チャンネル				
絶対最大入力	電圧: \pm 15V		電流: \pm 30mA ^{*1}		電圧: \pm 15V 電流: \pm 30mA ^{*1}				
外部接続方式	ユニット電源部 (ユニット電源・FG用)	ワンタッチコネクタ(別売)			2ピーススプリングクランプ端子台				種類が異なるため、再配線が必要です。
	入出力部	e-CON(別売)			2ピーススプリングクランプ端子台				
適合圧着端子	☞ 9ページ 端子台の適合圧着端子				☞ 9ページ 端子台の適合圧着端子				
サイクリック伝送(RX/Ry)	48点 ^{*2}				32点 ^{*2}				点数の修正が必要です。
サイクリック伝送(RWw/RWw)	24点 ^{*2}				16点 ^{*2}				
外部供給電源(電流)	150mA以下				150mA以下				—
質量	0.22kg				0.13kg				

*1 ユニット内部抵抗の破壊を起こさない瞬間的な電流値です。

*2 エンジニアリングツールで設定時のデフォルト値です。

FA-D-0477-A

基本D/A変換ユニット

項目	置換え元				置換え先				置換え時の留意点
	NZ2GFCE-60DAV8		NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2S-60DA4				
局種別	リモートデバイス局				リモートデバイス局				—
アナログ入力点数	8点(8チャンネル)/1ユニット				4点(4チャンネル)/1ユニット				5点以上使用時は2台必要です。
アナログ出力	電圧: DC-10~10V (外部負荷抵抗値: 1kΩ~1MΩ)		電流: DC0~20mA (外部負荷抵抗値: 0Ω~600Ω)		電圧: DC-10~10V (外部負荷抵抗値: 1kΩ~1MΩ)		電流: DC0~20mA (外部負荷抵抗値: 0Ω~600Ω)		—
入出力特性, 最大分解能	出力	出力レンジ	デジタル入力値	最大分解能	出力	出力レンジ	デジタル入力値	最大分解能	
	電圧 (NZ2GFCE-60DAV8)	-10~10V	-16000~16000	0.625mV	電圧	-10~10V	-16000~16000	0.625mV	
		—	0~12000	—		0~10V	0~16000	0.625mV	
		0~5V		0.416mV		0~5V		0.3125mV	
	1~5V		0.333mV	1~5V		0.25mV			
	電流 (NZ2GFCE-60DAI8)	0~20mA	0~12000	1.66μA	電流	0~20mA	0~16000	1.25μA	
4~20mA			1.33μA	4~20mA			1μA		
変換精度	周囲温度(25±5°C): ±0.2% 周囲温度(0~55°C): ±0.3%				周囲温度(25±5°C): ±0.2% 周囲温度(0~55°C): ±0.3%				
変換速度	1ms/チャンネル				200μs/チャンネル				
外部接続方式	ユニット電源部 (ユニット電源・FG用)	ワンタッチコネクタ(別売)			2ピーススプリングクランプ端子台				種類が異なるため、再配線が必要です。
	入出力部	e-CON(別売)			2ピーススプリングクランプ端子台				
適合圧着端子	☞ 9ページ 端子台の適合圧着端子				☞ 9ページ 端子台の適合圧着端子				
サイクリック伝送(RX/RV)	32点*1				32点*1				—
サイクリック伝送(RWr/RWw)	24点*1				32点*1				点数の修正が必要です。
外部供給電源(電流)	160mA以下		330mA以下		250mA以下				—
質量	0.22kg				0.15kg				

*1 エンジニアリングツールで設定時のデフォルト値です。

FA-D-0477-A

増設A/D変換ユニット

項目	置換え元				置換え先				置換え時の留意点	
	NZ2EX2B-60AD4				NZ2GN2B-60AD4					
局種別	—				リモートデバイス局				局追加が必要です。	
アナログ入力点数	4点(4チャンネル)/1ユニット				4点(4チャンネル)/1ユニット				—	
アナログ入力	電圧: DC-10~10V (入力抵抗値: 1MΩ) 電流: DC0~20mA (入力抵抗値: 250Ω)				電圧: DC-10~10V (入力抵抗値: 1MΩ) 電流: DC0~20mA (入力抵抗値: 250Ω)					
入出力特性, 最大分解能	入力	入力レンジ	デジタル出力値	最大分解能	入力	入力レンジ	デジタル出力値	最大分解能		
		電圧	-10~10V	-16000~16000		0.625mV	電圧	-10~10V	-16000~16000	0.625mV
		—	0~16000	—		0~10V	0~16000	0.625mV		
		0~5V		0.3125mV		0~5V		0.3125mV		
		1~5V		0.25mV		1~5V		0.25mV		
		電流	0~20mA	0~16000	1.25μA	電流	0~20mA	0~16000	1.25μA	
		4~20mA		1μA		4~20mA		1μA		
変換精度	周囲温度(25±5°C): ±0.1% 周囲温度(0~55°C): ±0.2%				周囲温度(25±5°C): ±0.1% 周囲温度(0~55°C): ±0.2%					
変換速度	100μs/チャンネル 400μs/チャンネル 1ms/チャンネル				200μs/チャンネル					
外部接続方式	ユニット電源部 (ユニット電源・FG用)	2ピースねじ端子台				2ピーススプリングクランプ端子台				種類または形状が異なるため、再配線が必要です。
	入出力部	2ピースねじ端子台				2ピースねじ端子台				
適合圧着端子	☞ 10ページ 端子台の適合圧着端子				☞ 10ページ 端子台の適合圧着端子					
サイクリック伝送(RX/Ry)	16点*1				32点*1				点数の修正が必要です。	
サイクリック伝送(RWw/RWw)	16点*1				16点*1					
外部供給電源(電流)	45mA以下				150mA以下				—	
質量	0.22kg				0.20kg					

*1 エンジニアリングツールで設定時のデフォルト値です。

FA-D-0477-A

増設D/A変換ユニット

項目	置換え元				置換え先				置換え時の留意点			
	NZ2EX2B-60DA4				NZ2GN2B-60DA4							
局種別	—				リモートデバイス局				局追加が必要です。			
アナログ入力点数	4点(4チャンネル)/1ユニット				4点(4チャンネル)/1ユニット				—			
アナログ出力	電圧: DC-10~10V (外部負荷抵抗値: 1kΩ~1MΩ) 電流: DC0~20mA (外部負荷抵抗値: 0Ω~600Ω)				電圧: DC-10~10V (外部負荷抵抗値: 1kΩ~1MΩ) 電流: DC0~20mA (外部負荷抵抗値: 0Ω~600Ω)							
入出力特性, 最大分解能	出力	出力レンジ	デジタル入力値	最大分解能	出力	出力レンジ	デジタル入力値	最大分解能				
	電圧	-10~10V	-16000~16000	0.625mV	電圧	-10~10V	-16000~16000	0.625mV				
		—				0~12000			—	0~10V	0~16000	0.625mV
		0~5V							0.416mV	0~5V		0.3125mV
		1~5V							0.333mV	1~5V		0.25mV
	電流	0~20mA	0~12000	1.66μA	電流	0~20mA	0~16000	1.25μA				
		4~20mA							1.33μA	4~20mA		1μA
変換精度	周囲温度(25±5°C): ±0.2% 周囲温度(0~55°C): ±0.3%				周囲温度(25±5°C): ±0.2% 周囲温度(0~55°C): ±0.3%							
変換速度	100μs/チャンネル				200μs/チャンネル							
外部接続方式	ユニット電源部 (ユニット電源・FG用)	2ピースねじ端子台				2ピーススプリングクランプ端子台				種類が異なるため、再配線が必要です。		
	入出力部	2ピースねじ端子台				2ピースねじ端子台						
適合圧着端子	☞ 10ページ 端子台の適合圧着端子				☞ 10ページ 端子台の適合圧着端子							
サイクリック伝送(RX/Ry)	16点*1				32点*1				点数の修正が必要です。			
サイクリック伝送(RWw/RWw)	16点*1				32点*1							
外部供給電源(電流)	135mA以下				250mA以下				—			
質量	0.23kg				0.20kg							

*1 エンジニアリングツールで設定時のデフォルト値です。

FA-D-0477-A

3.3 ユニットサイズ比較

基本ユニット

置換え元			置換え先		
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8, NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8			NZ2GN2S-60AD4, NZ2GN2S-60DA4		
高さ(H) [mm]	幅(W) [mm]	奥行き(D) [mm]	高さ(H) [mm]	幅(W) [mm]	奥行き(D) [mm]
69.5	175	47	58	130	45.5

増設ユニット

置換え元			置換え先		
NZ2EX2B-60AD4, NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60AD4, NZ2GN2B-60DA4		
高さ(H) [mm]	幅(W) [mm]	奥行き(D) [mm]	高さ(H) [mm]	幅(W) [mm]	奥行き(D) [mm]
54.5	115 (133)*1	74.5	58	147	57

*1 ()内は、固定用金具を含めた寸法です。CC-Link IE TSNリモートI/Oユニットでは、固定用金具の取付けは不要です。

3.4 端子台の適合圧着端子

基本ユニット

端子台は種類が異なるため、ユニットを置き換える際は再配線していただく必要があります。

ユニット端子台個所	置換え元		置換え先			
	適合ケーブル芯線サイズ	適合ケーブル外形サイズ	品目, 端子形状	形名(適合電線サイズ)	適合圧着工具	問い合わせ先
ユニット電源・FG用端子台	0.75mm ² (0.66~0.98mm ²)	φ2.0~3.0mm	棒型圧着端子フェルール絶縁スリーブ付き	A10.34-10TQ (0.34mm ²)	CRIMPFOX6	フエニックス・コンタクト株式会社 www.phoenixcontact.co.jp
				A10.5-10WH (0.5mm ²)		
				A10.75-10GY (0.75mm ²)		
				A0.5-10 (0.5mm ²)		
			棒型圧着端子フェルール絶縁スリーブなし	A0.75-10 (0.75mm ²)		
				A1.0-10 (1.0mm ²)		
				A1.5-10 (1.5mm ²)		
				A1.5-10 (1.5mm ²)		
外部機器接続用端子台	0.14~0.50mm ²	φ0.8~2.0mm	棒型圧着端子フェルール絶縁スリーブ付き	A10.34-10TQ (0.34mm ²)	CRIMPFOX6	フエニックス・コンタクト株式会社 www.phoenixcontact.co.jp
				A10.5-10WH (0.5mm ²)		
				A10.75-10GY (0.75mm ²)		
				A0.5-10 (0.5mm ²)		
			棒型圧着端子フェルール絶縁スリーブなし	A0.75-10 (0.75mm ²)		
				A1.0-10 (1.0mm ²)		
				A1.5-10 (1.5mm ²)		
				A1.5-10 (1.5mm ²)		

増設ユニット

端子台は形状が異なるため、ユニットを置き換える際は再配線していただく必要があります。

ユニット端子台個所	圧着端子タイプ	形名 (適合電線サイズ)		適合圧着工具	問い合わせ先
		置換え元	置換え先		
		NZ2EX2B-60AD4, NZ2EX2B-60DA4	NZ2GN2B-60AD4, NZ2GN2B-60DA4		
ユニット電源・FG用端子台	棒型圧着端子 (フェルール) 絶縁スリーブ付き	—	AI0.34-10TQ (0.34mm)	CRIMPFOX6	フエニックス・コンタクト株式会社 www.phoenixcontact.co.jp
		AI0.5-10WH (0.5mm)	AI0.5-10WH (0.5mm)		
		AI0.75-10GY (0.75mm)	AI0.75-10GY (0.75mm)		
		AI 1-10RD (1.0mm)	—		
		AI 1.5-10BK (1.5mm)	—		
	棒型圧着端子 (フェルール) 絶縁スリーブなし	—	A0.5-10 (0.5mm)		
		—	A0.75-10 (0.75mm)		
		—	A1.0-10 (1.0mm)		
—		A1.5-10 (1.5mm)			
外部機器接続用端子台	丸型圧着端子	RAV1.25-3 (0.3~1.25mm)	RAA1.25-3 (0.3~1.25mm)	—	— (JIS C 2805に準拠)
		V2-MS3 (1.25~2.0mm)	V2-MS3 (1.25~2.0mm)	YNT-1614他	日本圧着端子製造株式会社 www.jst-mfg.com
		RAP2-3SL (1.25~2.0mm)	—	—	—
		TGV2-3N (1.25~2.0mm)	TGV2-3N (1.25~2.0mm)	NH12, NH32他	株式会社ニチフ端子工業 www.nichifu.co.jp

3.5 機能比較

CC-Link IEフィールドネットワークA/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットから、CC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニット(CC-Link IEフィールドネットワーク通信モード)に置換え時、制限が発生する機能は下記のとおりです。その他の機能については、各ユニットのマニュアルを参照してください。

基本A/D変換ユニット

○: 機能あり, ー: 機能なし

機能		説明	置換え元	置換え先	置換え時の留意点	
			NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8	NZ2GN2S-60AD4		
A/D変換方式	サンプリング処理	アナログ入力値を順次A/D変換して、デジタル演算値をリモートレジスタに格納します。	○	○	置換え元/置換え先の変換速度が異なるため、変換周期が異なります。(P.5ページ仕様比較)	
	平均処理	時間平均	A/D変換を設定時間行い、その最大値と最小値を除いた合計値を平均し、リモートレジスタに格納します。設定時間内の処理回数は、使用チャンネル数(A/D変換許可に設定したチャンネル数)によって変わります。	○		○
		回数平均	A/D変換を設定回数行い、その最大値と最小値を除いた合計値を平均し、リモートレジスタに格納します。回数平均による平均値がリモートレジスタに格納される時間は、使用チャンネル数(A/D変換許可に設定したチャンネル数)によって変わります。	○		○
		移動平均	サンプリング周期ごとに取り込んだ指定回数分のデジタル出力値を平均し、リモートレジスタに格納します。サンプリングごとに移動して平均処理を行うため、最新のデジタル演算値が得られます。	○		○
最大値・最小値ホールド機能		チャンネルごとに、デジタル演算値の最大値と最小値が、リモートバッファメモリに格納されます。	○	○	置換え元はイニシャル設定要求フラグ(RY9)のOFF→ON→OFFにて、現在値でクリアされますが、置換え先は0クリアされます。	
入力信号異常検出機能		アナログ入力信号の断線を簡易的に検出します。	○	○	置換え元の下記リンクデバイスについて、置換え先では仕様が異なります。(P.16ページリンクデバイス比較(RX, RY, RWr, RWw)) ・最新ワーニングコード	
警報出力機能(プロセスアラーム)		デジタル演算値があらかじめ設定された警報出力範囲に入った場合に、警報を出力します。	○	○		
デジタルクリップ機能		入力レンジを超過する電圧または電流が入力された場合に、デジタル出力値の最大値を16000、最小値を0または-16000に固定できます。	○	ー	本機能は置換え先にありません。	
差分変換機能		デジタル演算値から差分変換基準値を引いた値をリモートレジスタに格納します。	○	ー		

FA-D-0477-A

機能	説明	置換え元	置換え先	置換え時の留意点
		NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8	NZ2GN2S-60AD4	
エラー通知機能	A/D変換ユニットに、中度エラーまたは重度エラーが発生したとき、リモート入力信号によりマススタ局へエラーを通知します。	○	○	置換え元の下記リンクデバイスについて、置換え先では仕様が異なります。(☞ 16 ページ リンクデバイス比較 (RX, RY, RWr, RWw)) <ul style="list-style-type: none"> エラー状態フラグ ワーニング状態フラグ 最新エラーコード 最新ワーニングコード エラークリア要求フラグ
ユニット電源電圧降下検出機能	ユニット電源の電圧降下を検出します。 A/D変換ユニットに供給される電源の電圧降下や、配線の接触不良発生時のトラブルシューティングが容易になります。なお、ユニット電源電圧降下の監視電圧は20.4Vです。	—	○	—

基本D/A変換ユニット

○: 機能あり, —: 機能なし

機能	説明	置換え元	置換え先	置換え時の留意点
		NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8	NZ2GN2S-60DA4	
レンジ切替機能	チャンネルごとに出力レンジを設定します。	○	○	0~5V, 1~5V, 0~20mA, 4~20mAのレンジでは、置換え元と置換え先のデジタル値の範囲が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> 置換え元: 0~12000 置換え先: 0~16000
サイクリックデータ更新監視機能	サイクリックデータの更新間隔を監視します。設定した監視時間以上、サイクリック伝送停止状態が続いた場合に、直前まで出力されていた値を保持(HOLD)するか、クリア(CLEAR)します。	○	—	本機能は置換え先にありません。
デジタル値範囲チェック機能	デジタル値が、出力レンジのデジタル入力範囲外になった場合に、エラーが出力されます。	○	○	デジタル値が範囲外になった場合、置換え元ではアラームが発生し、ワーニング状態フラグがON、最新ワーニングコードにアラームコードが格納されます。置換え先では軽度エラーが発生し、エラー状態フラグがON、最新エラーコードにエラーコードが格納されます。
警報出力機能	デジタル値があらかじめ設定された警報出力範囲に入った場合に、警報が出力されます。	○	○	置換え元の下記リンクデバイスについて、置換え先では仕様が異なります。(☞ 16 ページ リンクデバイス比較 (RX, RY, RWr, RWw)) <ul style="list-style-type: none"> 最新ワーニングコード
エラー通知機能	D/A変換ユニットに、中度エラーまたは重度エラーが発生したとき、リモート入力信号によりマススタ局へエラーを通知します。	○	○	置換え元の下記リンクデバイスについて、置換え先では仕様が異なります。(☞ 16 ページ リンクデバイス比較 (RX, RY, RWr, RWw)) <ul style="list-style-type: none"> エラー状態フラグ ワーニング状態フラグ 最新エラーコード 最新ワーニングコード エラークリア要求フラグ
ユニット電源電圧降下検出機能	ユニット電源の電圧降下を検出します。 D/A変換ユニットに供給される電源の電圧降下や、配線の接触不良発生時のトラブルシューティングが容易になります。なお、ユニット電源電圧降下の監視電圧は20.4Vです。	—	○	—

FA-D-0477-A

増設A/D変換ユニット

○: 機能あり, ー: 機能なし

機能		説明	置換え元	置換え先	置換え時の留意点	
			NZ2EX2B-60AD4	NZ2GN2B-60AD4		
変換速度切換機能		変換速度を100μs, 400μs, 1msのいずれかから選択できます。	○	ー	本機能は置換え先にあります。	
A/D変換方式	サンプリング処理	アナログ入力値を順次A/D変換して、デジタル演算値をリモートレジスタに格納します。	○	○	置換え元/置換え先の変換速度が異なるため、変換周期が異なります。	
	平均処理	時間平均	A/D変換を設定時間行い、その最大値と最小値を除いた合計値を平均し、リモートレジスタに格納します。設定時間内の処理回数は、使用チャンネル数(A/D変換許可に設定したチャンネル数)によって変わります。	○		○
		回数平均	A/D変換を設定回数行い、その最大値と最小値を除いた合計値を平均し、リモートレジスタに格納します。回数平均による平均値がリモートレジスタに格納される時間は、使用チャンネル数(A/D変換許可に設定したチャンネル数)によって変わります。	○		○
		移動平均	サンプリング周期ごとに取り込んだ指定回数分のデジタル出力値を平均し、リモートレジスタに格納します。サンプリングごとに移動して平均処理を行うため、最新のデジタル演算値が得られます。	○		○
最大値・最小値ホールド機能		チャンネルごとに、デジタル演算値の最大値と最小値が、リモートバッファメモリに格納されます。	○	○	置換え元はイニシャル設定要求フラグ(RY9)のOFF→ON→OFFにて、現在値でクリアされますが、置換え先は0クリアされます。	
入力信号異常検出機能		アナログ入力信号の断線を簡易的に検出します。	○	○	置換え元の下記リンクデバイスについて、置換え先では仕様異なります。(P.16 ページリンクデバイス比較 (RX, RY, RWr, RWw)) ・最新ワーニングコード	
警報出力機能(プロセスアラーム)		デジタル演算値があらかじめ設定された警報出力範囲に入った場合に、警報を出力します。	○	○		
デジタルクリップ機能		入力レンジを超過する電圧または電流が入力された場合に、デジタル出力値の最大値を16000, 最小値を0または-16000に固定できます。	○	ー	本機能は置換え先にあります。	
差分変換機能		デジタル演算値から差分変換基準値を引いた値をリモートレジスタに格納します。	○	ー		
トリガ変換機能		トリガ変換要求の入力に合わせて、A/D変換する機能です。	○	ー		
CC-Link IEフィールドネットワーク同期通信機能		CC-Link IEフィールドネットワーク同期通信機能に対応したマスタ局の同期周期でA/D変換を行う機能です。これにより、同じネットワークに接続されている他のデバイス局と動作タイミングを揃えることができます。	○	ー		

FA-D-0477-A

機能	説明	置換え元	置換え先	置換え時の留意点
		NZ2EX2B-60AD4	NZ2GN2B-60AD4	
エラー通知機能	A/D変換ユニットに、中度エラーまたは重度エラーが発生したとき、リモート入力信号によりマススタ局へエラーを通知します。	○	○	置換え元の下記リンクデバイスについて、置換え先では仕様が異なります。(P.16 ページ リンクデバイス比較 (RX, RY, RWr, RWw)) <ul style="list-style-type: none"> エラー状態フラグ ワーニング状態フラグ 最新エラーコード 最新ワーニングコード エラークリア要求フラグ
増設アナログユニット装着時の機能	基本A/D変換ユニットは、増設A/D変換ユニットを1台装着できます。増設A/D変換ユニットを装着した場合、最大8チャンネル分のA/D変換処理を行うことができます。	○	—	本機能は置換え先にありません。
ユニット電源電圧降下検出機能	ユニット電源の電圧降下を検出します。A/D変換ユニットに供給される電源の電圧降下や、配線の接触不良発生時のトラブルシュートが容易になります。なお、ユニット電源電圧降下の監視電圧は20.4Vです。	—	○	—

増設D/A変換ユニット

○: 機能あり, —: 機能なし

機能	説明	置換え元	置換え先	置換え時の留意点
		NZ2EX2B-60DA4	NZ2GN2B-60DA4	
レンジ切換機能	チャンネルごとに出力レンジを選択できます。	○	○	0~5V, 1~5V, 0~20mA, 4~20mAのレンジでは、置換え元と置換え先のデジタル値の範囲が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> 置換え元: 0~12000 置換え先: 0~16000
サイクリックデータ更新監視機能	サイクリックデータの更新間隔を監視します。設定した監視時間以上、サイクリック伝送停止状態が続いた場合に、直前まで出力されていた値を保持(HOLD)するか、クリア(CLEAR)します。	○	—	本機能は置換え先にありません。
デジタル値範囲チェック機能	デジタル値が、出力レンジのデジタル入力範囲外になった場合に、エラーが出力されます。	○	○	デジタル値が範囲外になった場合、置換え元ではアラームが発生し、ワーニング状態フラグがON、最新ワーニングコードにアラームコードが格納されます。置換え先では軽度エラーが発生し、エラー状態フラグがON、最新エラーコードにエラーコードが格納されます。
警報出力機能	デジタル値があらかじめ設定された警報出力範囲に入った場合に、警報が出力されます。	○	○	置換え元の下記リンクデバイスについて、置換え先では仕様が異なります。(P.16 ページ リンクデバイス比較(RX, RY, RWr, RWw)) <ul style="list-style-type: none"> 最新ワーニングコード
トリガ出力機能	トリガ出力要求の入力に合わせて、D/A変換する機能です。	○	—	本機能は置換え先にありません。
CC-Link IEフィールドネットワーク同期通信機能	CC-Link IEフィールドネットワーク同期通信機能に対応したマススタ局の同期周期でD/A変換を行う機能です。これにより、同じネットワークに接続されている他のデバイス局と動作タイミングを揃えることができます。	○	—	

FA-D-0477-A

機能	説明	置換え元	置換え先	置換え時の留意点
		NZ2EX2B-60DA4	NZ2GN2B-60DA4	
エラー通知機能	D/A変換ユニットに、中度エラーまたは重度エラーが発生したとき、リモート入力信号によりマスタ局へエラーを通知します。	○	○	置換え元の下記リンクデバイスについて、置換え先では仕様が異なります。(☞ 16 ページリンクデバイス比較(RX, RY, RWr, RWw)) <ul style="list-style-type: none"> エラー状態フラグ ワーニング状態フラグ 最新エラーコード 最新ワーニングコード エラークリア要求フラグ
増設アナログユニット装着時の機能	基本D/A変換ユニットは、増設D/A変換ユニットを1台装着できます。 増設D/A変換ユニットを装着した場合、最大8チャンネル分のD/A変換処理を行うことができます。	○	—	本機能は置換え先にありません。
ユニット電源電圧降下検出機能	ユニット電源の電圧降下を検出します。 D/A変換ユニットに供給される電源の電圧降下や、配線の接触不良発生時のトラブルシューティングが容易になります。なお、ユニット電源電圧降下の監視電圧は20.4Vです。	—	○	—

3.6 リンクデバイス比較(RX, RY, RWr, RWw)

CC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニット(CC-Link IEフィールドネットワーク通信モード)で使用する場合は、配置が異なる、または使用できないリモート入出力信号・リモートレジスタがあります。

Point

基本A/D変換ユニットおよび基本D/A変換ユニットを置き換える場合、プログラムで使用している置換え元ユニットのデバイス設定を、置換え先ユニットのデバイス設定に変更してください。この際、置換え先ユニットが2台であれば、両方のデバイスを使用するようにプログラムを修正する必要があります。また、置換え元ユニット1台に対するモニタ、設定、制御について、置換え先ユニット2台それぞれで実施できるようにプログラムを変更してください。

基本A/D変換ユニット

入出力信号の割付け例は下記のとおりです。

- NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8のリモート入出力信号: RX0~RX2F, RY0~RY2F
- NZ2GN2S-60AD4のリモート入出力信号: RX0~RX1F, RY0~RY1F

リモートレジスタの割付け例は下記のとおりです。

- NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8のリモートレジスタ: RWr0~RWr17, RWw0~RWw17
- NZ2GN2S-60AD4のリモートレジスタ: RWr0~RWr1F, RWw0~RWw1F

リモート入力信号(RX)

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8		NZ2GN2S-60AD4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RX7	ワーニング状態フラグ	—	—	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	*1
RXA	エラー状態フラグ	RXA	エラー状態フラグ	RXA	エラー状態フラグ	置換え元では、軽度エラー発生時にエラー状態フラグはONになりませんが、置換え先ではONになります。*1
RXB	リモートREADY	RXB	リモートREADY	RXB	リモートREADY	*1
RX10	CH1 A/D変換完了フラグ	RX10	CH1 A/D変換完了フラグ	—	—	—
RX11	CH2 A/D変換完了フラグ	RX11	CH2 A/D変換完了フラグ	—	—	—
RX12	CH3 A/D変換完了フラグ	RX12	CH3 A/D変換完了フラグ	—	—	—
RX13	CH4 A/D変換完了フラグ	RX13	CH4 A/D変換完了フラグ	—	—	—
RX14	CH5 A/D変換完了フラグ	—	—	RX10	CH1 A/D変換完了フラグ	—
RX15	CH6 A/D変換完了フラグ	—	—	RX11	CH2 A/D変換完了フラグ	—
RX16	CH7 A/D変換完了フラグ	—	—	RX12	CH3 A/D変換完了フラグ	—
RX17	CH8 A/D変換完了フラグ	—	—	RX13	CH4 A/D変換完了フラグ	—
RX18	警報出力信号	RX18	警報出力信号	RX18	警報出力信号	*1
RX1C	入力信号異常検出信号	RX1C	入力信号異常検出信号	RX1C	入力信号異常検出信号	—
RX1D	最大値・最小値リセット完了フラグ	RX1D	最大値・最小値リセット完了フラグ	RX1D	最大値・最小値リセット完了フラグ	—

FA-D-0477-A

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8		NZ2GN2S-60AD4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RX20	CH1 差分変換状態フラグ	—	—	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
RX21	CH2 差分変換状態フラグ	—	—	—	—	
RX22	CH3 差分変換状態フラグ	—	—	—	—	
RX23	CH4 差分変換状態フラグ	—	—	—	—	
RX24	CH5 差分変換状態フラグ	—	—	—	—	
RX25	CH6 差分変換状態フラグ	—	—	—	—	
RX26	CH7 差分変換状態フラグ	—	—	—	—	
RX27	CH8 差分変換状態フラグ	—	—	—	—	

*1 置換え先のユニット2台のデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

リモート出力信号(RY)

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8		NZ2GN2S-60AD4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	*1
RYA	エラークリア要求フラグ	RYA	エラークリア要求フラグ	RYA	エラークリア要求フラグ	<ul style="list-style-type: none"> 置換え元ではワーニングは、要因解消後に自動でクリアされます。置換え先では軽度エラーは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。 置換え元では、警報出力のワーニングコードは、要因解消時に自動でクリアされます。置換え先では、警報出力のアラームコードは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。*1
RY1D	最大値・最小値リセット要求	RY1D	最大値・最小値リセット要求	RY1D	最大値・最小値リセット要求	*1
RY20	CH1 差分変換トリガ	—	—	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
RY21	CH2 差分変換トリガ	—	—	—	—	
RY22	CH3 差分変換トリガ	—	—	—	—	
RY23	CH4 差分変換トリガ	—	—	—	—	
RY24	CH5 差分変換トリガ	—	—	—	—	
RY25	CH6 差分変換トリガ	—	—	—	—	
RY26	CH7 差分変換トリガ	—	—	—	—	
RY27	CH8 差分変換トリガ	—	—	—	—	

*1 置換え先のユニット2台のデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

リモートレジスタ(RWr)						
置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8		NZ2GN2S-60AD4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RWr0	最新エラーコード	RWr0	最新エラーコード	RWr0	最新エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。 ^{*1}
RWr1	最新ワーニングコード	RWr1	最新アラームコード	RWr1	最新アラームコード	<ul style="list-style-type: none"> 格納されるワーニングコード、アラームコードの値が異なります。詳細はマニュアルを参照してください。 置換え元で、アラーム以外の軽度エラー(ワーニング)が発生した場合、ワーニング状態フラグがONし、最新ワーニングコードにワーニングコードが格納されます。置換え先で、軽度エラー発生が発生した場合、エラー発生フラグがONし、最新エラーコードにエラーコードが格納されます。 置換え元では、警報出力のワーニングコードは、要因解消時に自動でクリアされます。置換え先では、警報出力のアラームコードは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。^{*1}
RWr2	CH1 デジタル演算値	RWr2	CH1 デジタル演算値	—	—	—
RWr3	CH2 デジタル演算値	RWr3	CH2 デジタル演算値	—	—	
RWr4	CH3 デジタル演算値	RWr4	CH3 デジタル演算値	—	—	
RWr5	CH4 デジタル演算値	RWr5	CH4 デジタル演算値	—	—	
RWr6	CH5 デジタル演算値	—	—	RWr2	CH1 デジタル演算値	
RWr7	CH6 デジタル演算値	—	—	RWr3	CH2 デジタル演算値	
RWr8	CH7 デジタル演算値	—	—	RWr4	CH3 デジタル演算値	
RWr9	CH8 デジタル演算値	—	—	RWr5	CH4 デジタル演算値	
RWrA	入力信号異常検出フラグ	RWrA	入力信号異常検出フラグ	RWrA	入力信号異常検出フラグ	
RWrB	警報出力フラグ	RWrB	警報出力フラグ	RWrB	警報出力フラグ	
RWr10	CH1 差分変換基準値	—	—	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
RWr11	CH2 差分変換基準値	—	—	—	—	
RWr12	CH3 差分変換基準値	—	—	—	—	
RWr13	CH4 差分変換基準値	—	—	—	—	
RWr14	CH5 差分変換基準値	—	—	—	—	
RWr15	CH6 差分変換基準値	—	—	—	—	
RWr16	CH7 差分変換基準値	—	—	—	—	
RWr17	CH8 差分変換基準値	—	—	—	—	

^{*1} 置換え先のユニット2台のデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

リモートレジスタ(RWw)

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8		NZ2GN2S-60AD4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RWw2	CH1 変換値シフト量	RWw2	CH1 変換値シフト量	—	—	—
RWw3	CH2 変換値シフト量	RWw3	CH2 変換値シフト量	—	—	
RWw4	CH3 変換値シフト量	RWw4	CH3 変換値シフト量	—	—	
RWw5	CH4 変換値シフト量	RWw5	CH4 変換値シフト量	—	—	
RWw6	CH5 変換値シフト量	—	—	RWw2	CH1 変換値シフト量	
RWw7	CH6 変換値シフト量	—	—	RWw3	CH2 変換値シフト量	
RWw8	CH7 変換値シフト量	—	—	RWw4	CH3 変換値シフト量	
RWw9	CH8 変換値シフト量	—	—	RWw5	CH4 変換値シフト量	

基本D/A変換ユニット

入出力信号の割付け例は下記のとおりです。

- NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8のリモート入出力信号: RX0~RX1F, RY0~RY1F
- NZ2GN2S-60DA4のリモート入出力信号: RX0~RX1F, RY0~RY1F

リモートレジスタの割付け例は下記のとおりです。

- NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8のリモートレジスタ: RWr0~RWr17, RWw0~RWw17
- NZ2GN2S-60DA4のリモートレジスタ: RWr0~RWr1F, RWw0~RWw1F

リモート入力信号(RX)

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2S-60DA4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RX7	ワーニング状態フラグ	—	—	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	*1
RXA	エラー状態フラグ	RXA	エラー状態フラグ	RXA	エラー状態フラグ	置換え元では、軽度エラー発生時にエラー状態フラグはONになりますが、置換え先ではONになります。 *1
RXB	リモートREADY	RXB	リモートREADY	RXB	リモートREADY	*1
RX1E	警報出力信号	RX1E	警報出力信号	RX1E	警報出力信号	

*1 置換え先のユニット2台のデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

リモート出力信号(RY)

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2S-60DA4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	*1
RYA	エラークリア要求フラグ	RYA	エラークリア要求フラグ	RYA	エラークリア要求フラグ	置換え元ではワーニングは、要因解消後に自動でクリアされます。置換え先では軽度エラーは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。*1
RY10	CH1 出力許可/禁止フラグ	RY10	CH1 出力許可/禁止フラグ	—	—	—
RY11	CH2 出力許可/禁止フラグ	RY11	CH2 出力許可/禁止フラグ	—	—	—
RY12	CH3 出力許可/禁止フラグ	RY12	CH3 出力許可/禁止フラグ	—	—	—
RY13	CH4 出力許可/禁止フラグ	RY13	CH4 出力許可/禁止フラグ	—	—	—
RY14	CH5 出力許可/禁止フラグ	—	—	RY10	CH1 出力許可/禁止フラグ	—
RY15	CH6 出力許可/禁止フラグ	—	—	RY11	CH2 出力許可/禁止フラグ	—
RY16	CH7 出力許可/禁止フラグ	—	—	RY12	CH3 出力許可/禁止フラグ	—
RY17	CH8 出力許可/禁止フラグ	—	—	RY13	CH4 出力許可/禁止フラグ	—
RY1E	警報出力クリア要求フラグ	RY1E	警報出力クリア要求フラグ	RY1E	警報出力クリア要求フラグ	*1

*1 置換え先のユニット2台のデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

リモートレジスタ(RWr)

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2B-60DA4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RWr0	最新エラーコード	RWr0	最新エラーコード	RWr0	最新エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1
RWr1	最新ワーニングコード	RWr1	最新アラームコード	RWr1	最新アラームコード	<ul style="list-style-type: none"> 格納されるワーニングコード、アラームコードの値が異なります。詳細はマニュアルを参照してください。 置換え元で、アラーム以外の軽度エラー(ワーニング)が発生した場合、ワーニング状態フラグがONし、最新ワーニングコードにワーニングコードが格納されます。置換え先で、軽度エラー発生が発生した場合、エラー発生フラグがONし、最新エラーコードにエラーコードが格納されます。*1

FA-D-0477-A

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2B-60DA4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RWr2	CH1設定値チェックコード	RWr2	CH1設定値チェックコード	—	—	—
RWr3	CH2設定値チェックコード	RWr3	CH2設定値チェックコード	—	—	
RWr4	CH3設定値チェックコード	RWr4	CH3設定値チェックコード	—	—	
RWr5	CH4設定値チェックコード	RWr5	CH4設定値チェックコード	—	—	
RWr6	CH5設定値チェックコード	—	—	RWr2	CH1設定値チェックコード	
RWr7	CH6設定値チェックコード	—	—	RWr3	CH2設定値チェックコード	
RWr8	CH7設定値チェックコード	—	—	RWr4	CH3設定値チェックコード	
RWr9	CH8設定値チェックコード	—	—	RWr5	CH4設定値チェックコード	
RWrA	警報出力フラグ	RWrA	警報出力フラグ	RWrA	警報出力フラグ	

*1 置換え先のユニット2台のデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

リモートレジスタ(RWw)

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2S-60DA4				
		1台目		2台目		
デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
RWw2	CH1 デジタル値	RWw2	CH1 デジタル値	—	—	0~5V, 1~5V, 0~20mA, 4~20mA のレンジでは、置換え元と置換え先のデジタル値の範囲が異なります。 • 置換え元: 0~12000 • 置換え先: 0~16000
RWw3	CH2 デジタル値	RWw3	CH2 デジタル値	—	—	
RWw4	CH3 デジタル値	RWw4	CH3 デジタル値	—	—	
RWw5	CH4 デジタル値	RWw5	CH4 デジタル値	—	—	
RWw6	CH5 デジタル値	—	—	RWw2	CH1 デジタル値	
RWw7	CH6 デジタル値	—	—	RWw3	CH2 デジタル値	
RWw8	CH7 デジタル値	—	—	RWw4	CH3 デジタル値	
RWw9	CH8 デジタル値	—	—	RWw5	CH4 デジタル値	
RWw10	CH1 シフト設定値	RWw10	CH1 シフト設定値	—	—	
RWw11	CH2 シフト設定値	RWw11	CH2 シフト設定値	—	—	
RWw12	CH3 シフト設定値	RWw12	CH3 シフト設定値	—	—	
RWw13	CH4 シフト設定値	RWw13	CH4 シフト設定値	—	—	
RWw14	CH5 シフト設定値	—	—	RWw10	CH1 シフト設定値	
RWw15	CH6 シフト設定値	—	—	RWw11	CH2 シフト設定値	
RWw16	CH7 シフト設定値	—	—	RWw12	CH3 シフト設定値	
RWw17	CH8 シフト設定値	—	—	RWw13	CH4 シフト設定値	

増設A/D変換ユニット

入出力信号の割付け例は下記のとおりです。

- 増設ユニットが接続されている基本ユニット: RX0~RX1F, RY0~RY1F
- NZ2EX2B-60DA4のリモート入出力信号: RX20~RX2F, RY20~RY2F
- NZ2GN2B-60AD4のリモート入出力信号: RX0~RX1F, R0~RY1F

リモートレジスタの割付け例は下記のとおりです。

- 増設ユニットが接続されている基本ユニット: RWr0~RWrf, RWw0~RWwf
- NZ2EX2B-60AD4のリモートレジスタ: RWr10~RWrf1F, RWw10~RWwf1F
- NZ2GN2B-60AD4のリモートレジスタ: RWr0~RWrf, RWw0~RWwf

Point

基本ユニットは置き換ええない想定で記載しています。
置き換えを検討される場合は、各マニュアルを参照してください。

リモート入力信号(RX)

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RX7	ワーニング状態フラグ	—	—	—
	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	*1
	RXA	エラー状態フラグ	RXA	エラー状態フラグ	置換え元では、軽度エラー発生時にエラー状態フラグはONになりませんが、置換え先ではONになります。*1
	RXB	リモートREADY	RXB	リモートREADY	*1
	RX10	CH1 A/D変換完了フラグ	—	—	—
	RX11	CH2 A/D変換完了フラグ	—	—	—
	RX12	CH3 A/D変換完了フラグ	—	—	—
	RX13	CH4 A/D変換完了フラグ	—	—	—
	RX14	CH1 差分変換状態フラグ	—	—	—
	RX15	CH2 差分変換状態フラグ	—	—	—
	RX16	CH3 差分変換状態フラグ	—	—	—
	RX17	CH4 差分変換状態フラグ	—	—	—
	RX18	警報出力信号	—	—	—
	RX19	トリガ変換完了フラグ	—	—	—
	RX1C	入力信号異常検出信号	—	—	—
	RX1D	最大値・最小値リセット完了フラグ	—	—	—
	RX1F	外部供給電源監視状態フラグ(増設出力ユニット用)	—	—	—

FA-D-0477-A

置換え元			置換え先		置換え時の留意点	
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4			
1台目, 2台目			2台目			
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目		
増設ユニット	RX20	CH1 A/D変換完了フラグ	RX10	CH1 A/D変換完了フラグ	—	
	RX21	CH2 A/D変換完了フラグ	RX11	CH2 A/D変換完了フラグ		
	RX22	CH3 A/D変換完了フラグ	RX12	CH3 A/D変換完了フラグ		
	RX23	CH4 A/D変換完了フラグ	RX13	CH4 A/D変換完了フラグ		
	RX24	CH1 差分変換状態フラグ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。	
	RX25	CH2 差分変換状態フラグ	—	—		
	RX26	CH3 差分変換状態フラグ	—	—		
	RX27	CH4 差分変換状態フラグ	—	—		
	RX28	警報出力信号	—	RX18	警報出力信号	—
	RX29	トリガ変換完了フラグ	—	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RX2C	入力信号異常検出信号	—	RX1C	入力信号異常検出信号	—
	RX2D	最大値・最小値リセット完了フラグ	—	RX1D	最大値・最小値リセット完了フラグ	—
	RX2F	外部供給電源READYフラグ	—	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RX7	ワーニング状態フラグ	—	—	—
	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	*1
	RXA	エラー状態フラグ	RXA	エラー状態フラグ	置換え元では、軽度エラー発生時にエラー状態フラグはONになりませんが、置換え先ではONになります。*1
	RXB	リモートREADY	RXB	リモートREADY	*1
	RX19	トリガ出力完了フラグ	—	—	—
	RX1E	警報出力信号	—	—	—
	RX1F	外部供給電源監視状態フラグ(増設出力ユニット用)	—	—	—
増設ユニット	RX20	CH1 A/D変換完了フラグ	RX10	CH1 A/D変換完了フラグ	—
	RX21	CH2 A/D変換完了フラグ	RX11	CH2 A/D変換完了フラグ	—
	RX22	CH3 A/D変換完了フラグ	RX12	CH3 A/D変換完了フラグ	—
	RX23	CH4 A/D変換完了フラグ	RX13	CH4 A/D変換完了フラグ	—
	RX24	CH1 差分変換状態フラグ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RX25	CH2 差分変換状態フラグ	—	—	
	RX26	CH3 差分変換状態フラグ	—	—	
	RX27	CH4 差分変換状態フラグ	—	—	
	RX28	警報出力信号	RX18	警報出力信号	—
	RX29	トリガ変換完了フラグ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RX2C	入力信号異常検出信号	RX1C	入力信号異常検出信号	—
	RX2D	最大値・最小値リセット完了フラグ	RX1D	最大値・最小値リセット完了フラグ	—
	RX2F	外部供給電源READYフラグ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

リモート出力信号(RY)

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	*1
	RYA	エラークリア要求フラグ	RYA	エラークリア要求フラグ	<ul style="list-style-type: none"> 置換え元ではワーニングは、要因解消後に自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。 置換え元では、警報出力のワーニングコードは、要因解消時に自動でクリアされます。置換え先では、警報出力のアラームコードは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。*1
	RY14	CH1差分変換トリガ	—	—	
	RY15	CH2差分変換トリガ	—	—	
	RY16	CH3差分変換トリガ	—	—	
	RY17	CH4差分変換トリガ	—	—	
	RY19	トリガ変換要求	—	—	
	RY1A	トリガ変換完了クリア要求	—	—	
	RY1D	最大値・最小値リセット要求	—	—	
RY1F	外部供給電源監視要求フラグ(増設出力ユニット用)	—	—		
増設ユニット	RY24	CH1 差分変換トリガ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RY25	CH2 差分変換トリガ	—	—	
	RY26	CH3 差分変換トリガ	—	—	
	RY27	CH4 差分変換トリガ	—	—	
	RY29	トリガ変換要求	—	—	
	RY2A	トリガ変換完了クリア要求	—	—	
	RY2D	最大値・最小値リセット要求	RY1D	最大値・最小値リセット要求	

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	*1
	RYA	エラークリア要求フラグ	RYA	エラークリア要求フラグ	<ul style="list-style-type: none"> 置換え元ではワーニングは、要因解消後に自動でクリアされます。置換え先では軽度エラーは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。 置換え元では、警報出力のワーニングコードは、要因解消時に自動でクリアされます。置換え先では、警報出力のアラームコードは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。*1
	RY10	CH1出力許可/禁止フラグ	—	—	
	RY11	CH2出力許可/禁止フラグ	—	—	
	RY12	CH3出力許可/禁止フラグ	—	—	
	RY13	CH4出力許可/禁止フラグ	—	—	
	RY19	トリガ出力要求	—	—	
	RY1A	トリガ出力完了クリア要求	—	—	
	RY1E	警報出力クリア要求フラグ	—	—	
RY1F	外部供給電源監視要求フラグ(増設出力ユニット用)	—	—		
増設ユニット	RY24	CH1 差分変換トリガ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RY25	CH2 差分変換トリガ	—	—	
	RY26	CH3 差分変換トリガ	—	—	
	RY27	CH4 差分変換トリガ	—	—	
	RY29	トリガ変換要求	—	—	
	RY2A	トリガ変換完了クリア要求	—	—	
	RY2D	最大値・最小値リセット要求	RY1D	最大値・最小値リセット要求	—

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

リモートレジスタ(RWr)

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RWr0	最新エラーコード	RWr0	最新エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1
	RWr1	最新ワーニングコード	RWr1	最新アラームコード	
	RWr2	CH1デジタル演算値	—	—	—
	RWr3	CH2デジタル演算値	—	—	
	RWr4	CH3デジタル演算値	—	—	
	RWr5	CH4デジタル演算値	—	—	
	RWr6	CH1差分変換基準値	—	—	
	RWr7	CH2差分変換基準値	—	—	
	RWr8	CH3差分変換基準値	—	—	
	RWr9	CH4差分変換基準値	—	—	
	RWrA	入力信号異常検出フラグ	—	—	
	RWrB	警報出力フラグ	—	—	
増設ユニット	RWr12	CH1 デジタル演算値	RWr2	CH1 デジタル演算値	—
	RWr13	CH2 デジタル演算値	RWr3	CH2 デジタル演算値	
	RWr14	CH3 デジタル演算値	RWr4	CH3 デジタル演算値	
	RWr15	CH4 デジタル演算値	RWr5	CH4 デジタル演算値	
	RWr16	CH1 差分変換基準値	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RWr17	CH2 差分変換基準値	—	—	
	RWr18	CH3 差分変換基準値	—	—	
	RWr19	CH4 差分変換基準値	—	—	
	RWr1A	入力信号異常検出フラグ	RWrA	入力信号異常検出フラグ	—
	RWr1B	警報出力フラグ	RWrB	警報出力フラグ	

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点	
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4			
1台目, 2台目			2台目			
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目		
基本ユニット	RWr0	最新エラーコード	RWr0	最新エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。 ^{*1}	
	RWr1	最新ワーニングコード	RWr1	最新アラームコード	<ul style="list-style-type: none"> 格納されるワーニングコード、アラームコードの値が異なります。詳細はマニュアルを参照してください。 置換え元で、アラーム以外の軽度エラー (ワーニング)が発生した場合、ワーニング状態フラグがONし、最新ワーニングコードにワーニングコードが格納されます。置換え先で、軽度エラー発生が発生した場合、エラー発生フラグがONし、最新エラーコードにエラーコードが格納されます。 置換え元では、警報出力のワーニングコードは、要因解消時に自動でクリアされます。置換え先では、警報出力のアラームコードは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。^{*1} 	
	RWr2	CH1設定値チェックコード	—	—	—	
	RWr3	CH2設定値チェックコード	—	—	—	
	RWr4	CH3設定値チェックコード	—	—	—	
	RWr5	CH4設定値チェックコード	—	—	—	
	RWrA	警報出力フラグ	—	—	—	
増設ユニット	RWr12	CH1 デジタル演算値	RWr2	CH1 デジタル演算値	—	
	RWr13	CH2 デジタル演算値	RWr3	CH2 デジタル演算値	—	
	RWr14	CH3 デジタル演算値	RWr4	CH3 デジタル演算値	—	
	RWr15	CH4 デジタル演算値	RWr5	CH4 デジタル演算値	—	
	RWr16	CH1 差分変換基準値	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。	
	RWr17	CH2 差分変換基準値	—	—		
	RWr18	CH3 差分変換基準値	—	—		
	RWr19	CH4 差分変換基準値	—	—		
		RWr1A	入力信号異常検出フラグ	RWrA	入力信号異常検出フラグ	—
		RWr1B	警報出力フラグ	RWrB	警報出力フラグ	—

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

リモートレジスタ(RWw)

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RWw2	CH1 変換値シフト量	—	—	—
	RWw3	CH2 変換値シフト量	—	—	
	RWw4	CH3 変換値シフト量	—	—	
	RWw5	CH4 変換値シフト量	—	—	
増設ユニット	RWw12	CH1 変換値シフト量	RWw2	CH1 変換値シフト量	—
	RWw13	CH2 変換値シフト量	RWw3	CH2 変換値シフト量	
	RWw14	CH3 変換値シフト量	RWw4	CH3 変換値シフト量	
	RWw15	CH4 変換値シフト量	RWw5	CH4 変換値シフト量	

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RWw2	CH1 デジタル値	—	—	—
	RWw3	CH2 デジタル値	—	—	
	RWw4	CH3 デジタル値	—	—	
	RWw5	CH4 デジタル値	—	—	
	RWw6	CH1 シフト設定値	—	—	
	RWw7	CH2 シフト設定値	—	—	
	RWw8	CH3 シフト設定値	—	—	
	RWw9	CH4 シフト設定値	—	—	
	増設ユニット	RWw12	CH1 変換値シフト量	RWw2	
RWw13		CH2 変換値シフト量	RWw3	CH2 変換値シフト量	
RWw14		CH3 変換値シフト量	RWw4	CH3 変換値シフト量	
RWw15		CH4 変換値シフト量	RWw5	CH4 変換値シフト量	

FA-D-0477-A

増設D/A変換ユニット

入出力信号の割付け例は下記のとおりです。

- 増設ユニットが接続されている基本ユニット:RX0~RX1F, RY0~RY1F
- NZ2EX2B-60DA4のリモート入出力信号:RX20~RX2F, RY2~RY2F
- NZ2GN2B-60DA4のリモート入出力信号:RX0~RX1F, RY00~RYF

リモートレジスタの割付け例は下記のとおりです。

- 増設ユニットが接続されている基本ユニット:RWr0~RWrF, RWw0~RWwF
- NZ2EX2B-60DA4のリモートレジスタ:RWr10~RWr2F, RWw10~RWw2F
- NZ2GN2B-60DA4のリモートレジスタ:RWr0~RWr1F, RWw0~RWw1F

Point

基本ユニットは置き換ええない想定で記載しています。
置き換えを検討される場合は、各マニュアルを参照してください。

リモート入力信号(RX)

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RX7	ワーニング状態フラグ	—	—	—
	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	*1
	RXA	エラー状態フラグ	RXA	エラー状態フラグ	置換え元では、軽度エラー発生時にエラー状態フラグはONになりませんが、置換え先ではONになります。*1
	RXB	リモートREADY	RXB	リモートREADY	*1
	RX10	CH1 A/D変換完了フラグ	—	—	—
	RX11	CH2 A/D変換完了フラグ	—	—	—
	RX12	CH3 A/D変換完了フラグ	—	—	—
	RX13	CH4 A/D変換完了フラグ	—	—	—
	RX14	CH1 差分変換状態フラグ	—	—	—
	RX15	CH2 差分変換状態フラグ	—	—	—
	RX16	CH3 差分変換状態フラグ	—	—	—
	RX17	CH4 差分変換状態フラグ	—	—	—
	RX18	警報出力信号	—	—	—
	RX19	トリガ変換完了フラグ	—	—	—
	RX1C	入力信号異常検出信号	—	—	—
	RX1D	最大値・最小値リセット完了フラグ	—	—	—
	RX1F	外部供給電源監視状態フラグ(増設出力ユニット用)	—	—	—
増設ユニット	RX29	トリガ出力完了フラグ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RX2E	警報出力信号	RX1E	警報出力信号	—
	RX2F	外部供給電源READYフラグ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RX7	ワーニング状態フラグ	—	—	—
	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RX9	イニシャルデータ設定完了フラグ	*1
	RXA	エラー状態フラグ	RXA	エラー状態フラグ	置換え元では、軽度エラー発生時にエラー状態フラグはONになりませんが、置換え先ではONになります。 ^{*1}
	RXB	リモートREADY	RXB	リモートREADY	*1
	RX19	トリガ出力完了フラグ	—	—	—
	RX1E	警報出力信号	—	—	—
	RX1F	外部供給電源監視状態フラグ(増設出力ユニット用)	—	—	—
増設ユニット	RX29	トリガ出力完了フラグ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RX2E	警報出力信号	RX1E	警報出力信号	—
	RX2F	外部供給電源READYフラグ	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

リモート出力信号(RY)

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	*1
	RYA	エラークリア要求フラグ	RYA	エラークリア要求フラグ	置換え元ではワーニングは、要因解消後に自動でクリアされます。置換え先では軽度エラーは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。*1
	RY14	CH1差分変換トリガ	—	—	
	RY15	CH2差分変換トリガ	—	—	
	RY16	CH3差分変換トリガ	—	—	
	RY17	CH4差分変換トリガ	—	—	
	RY19	トリガ変換要求	—	—	
	RY1A	トリガ変換完了クリア要求	—	—	
	RY1D	最大値・最小値リセット要求	—	—	
RY1F	外部供給電源監視要求フラグ(増設出力ユニット用)	—	—		
増設ユニット	RY20	CH1 出力許可/禁止フラグ	RY10	CH1 出力許可/禁止フラグ	—
	RY21	CH2 出力許可/禁止フラグ	RY11	CH2 出力許可/禁止フラグ	
	RY22	CH3 出力許可/禁止フラグ	RY12	CH3 出力許可/禁止フラグ	
	RY23	CH4 出力許可/禁止フラグ	RY13	CH4 出力許可/禁止フラグ	
	RY29	トリガ出力要求	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RY2A	トリガ出力完了クリア要求	—	—	
	RY2E	警報出力クリア要求フラグ	RY1E	警報出力クリア要求フラグ	

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	RY9	イニシャルデータ設定要求フラグ	*1
	RYA	エラークリア要求フラグ	RYA	エラークリア要求フラグ	置換え元ではワーニングは、要因解消後に自動でクリアされます。置換え先では軽度エラーは自動でクリアされず、要因解消後のエラークリア要求フラグをONすることでクリアできます。*1
	RY10	CH1出力許可/禁止フラグ	—	—	
	RY11	CH2出力許可/禁止フラグ	—	—	
	RY12	CH3出力許可/禁止フラグ	—	—	
	RY13	CH4出力許可/禁止フラグ	—	—	
	RY19	トリガ出力要求	—	—	
	RY1A	トリガ出力完了クリア要求	—	—	
	RY1E	警報出力クリア要求フラグ	—	—	
RY1F	外部供給電源監視要求フラグ(増設出力ユニット用)	—	—		
増設ユニット	RY20	CH1 出力許可/禁止フラグ	RY10	CH1 出力許可/禁止フラグ	—
	RY21	CH2 出力許可/禁止フラグ	RY11	CH2 出力許可/禁止フラグ	
	RY22	CH3 出力許可/禁止フラグ	RY12	CH3 出力許可/禁止フラグ	
	RY23	CH4 出力許可/禁止フラグ	RY13	CH4 出力許可/禁止フラグ	
	RY29	トリガ出力要求	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。
	RY2A	トリガ出力完了クリア要求	—	—	
	RY2E	警報出力クリア要求フラグ	RY1E	警報出力クリア要求フラグ	

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

リモートレジスタ(RWr)

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RWr0	最新エラーコード	RWr0	最新エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1
	RWr1	最新ワーニングコード	RWr1	最新アラームコード	
	RWr2	CH1デジタル演算値	—	—	—
	RWr3	CH2デジタル演算値	—	—	
	RWr4	CH3デジタル演算値	—	—	
	RWr5	CH4デジタル演算値	—	—	
	RWr6	CH1差分変換基準値	—	—	
	RWr7	CH2差分変換基準値	—	—	
	RWr8	CH3差分変換基準値	—	—	
	RWr9	CH4差分変換基準値	—	—	
	RWrA	入力信号異常検出フラグ	—	—	
RWrB	警報出力フラグ	—	—		
増設ユニット	RWr12	CH1 設定値チェックコード	RWr2	CH1 設定値チェックコード	—
	RWr13	CH2 設定値チェックコード	RWr3	CH2 設定値チェックコード	
	RWr14	CH3 設定値チェックコード	RWr4	CH3 設定値チェックコード	
	RWr15	CH4 設定値チェックコード	RWr5	CH4 設定値チェックコード	
	RWr1A	警報出力フラグ	RWrA	警報出力フラグ	

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点	
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4			
1台目, 2台目			2台目			
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目		
基本ユニット	RWr0	最新エラーコード	RWr0	最新エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。 ^{*1}	
	RWr1	最新ワーニングコード	RWr1	最新アラームコード		<ul style="list-style-type: none"> 格納されるワーニングコード、アラームコードの値が異なります。詳細はマニュアルを参照してください。 置換え元で、アラーム以外の軽度エラー(ワーニング)が発生した場合、ワーニング状態フラグがONし、最新ワーニングコードにワーニングコードが格納されます。置換え先で、軽度エラー発生が発生した場合、エラー発生フラグがONし、最新エラーコードにエラーコードが格納されます。^{*1}
	RWr2	CH1設定値チェックコード	—	—		
	RWr3	CH2設定値チェックコード	—	—		
	RWr4	CH3設定値チェックコード	—	—		
	RWr5	CH4設定値チェックコード	—	—		
RWrA	警報出力フラグ	—	—			
増設ユニット	RWr12	CH1 設定値チェックコード	RWr2	CH1 設定値チェックコード	—	
	RWr13	CH2 設定値チェックコード	RWr3	CH2 設定値チェックコード		
	RWr14	CH3 設定値チェックコード	RWr4	CH3 設定値チェックコード		
	RWr15	CH4 設定値チェックコード	RWr5	CH4 設定値チェックコード		
	RWr1A	警報出力フラグ	RWrA	警報出力フラグ		

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのデバイスと、置換え先のユニットのデバイスを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

リモートレジスタ(RWw)

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RWw2	CH1 変換値シフト量	—	—	—
	RWw3	CH2 変換値シフト量	—	—	
	RWw4	CH3 変換値シフト量	—	—	
	RWw5	CH4 変換値シフト量	—	—	
増設ユニット	RWw12	CH1 デジタル値	RWw2	CH1 デジタル値	0~5V, 1~5V, 0~20mA, 4~20mAのレンジでは、置換え元と置換え先のデジタル値の範囲が異なります。 •置換え元: 0~12000 •置換え先: 0~16000
	RWw13	CH2 デジタル値	RWw3	CH2 デジタル値	
	RWw14	CH3 デジタル値	RWw4	CH3 デジタル値	
	RWw15	CH4 デジタル値	RWw5	CH4 デジタル値	
	RWw16	CH1 シフト設定値	RWw10	CH1 シフト設定値	—
	RWw17	CH2 シフト設定値	RWw11	CH2 シフト設定値	
	RWw18	CH3 シフト設定値	RWw12	CH3 シフト設定値	
	RWw19	CH4 シフト設定値	RWw13	CH4 シフト設定値	

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	デバイス No.	項目	デバイス No.	項目	
基本ユニット	RWw2	CH1 デジタル値	—	—	—
	RWw3	CH2 デジタル値	—	—	
	RWw4	CH3 デジタル値	—	—	
	RWw5	CH4 デジタル値	—	—	
	RWw6	CH1 シフト設定値	—	—	
	RWw7	CH2 シフト設定値	—	—	
	RWw8	CH3 シフト設定値	—	—	
	RWw9	CH4 シフト設定値	—	—	
増設ユニット	RWw12	CH1 デジタル値	RWw2	CH1 デジタル値	0~5V, 1~5V, 0~20mA, 4~20mAのレンジでは、置換え元と置換え先のデジタル値の範囲が異なります。 •置換え元: 0~12000 •置換え先: 0~16000
	RWw13	CH2 デジタル値	RWw3	CH2 デジタル値	
	RWw14	CH3 デジタル値	RWw4	CH3 デジタル値	
	RWw15	CH4 デジタル値	RWw5	CH4 デジタル値	
	RWw16	CH1 シフト設定値	RWw10	CH1 シフト設定値	—
	RWw17	CH2 シフト設定値	RWw11	CH2 シフト設定値	
	RWw18	CH3 シフト設定値	RWw12	CH3 シフト設定値	
	RWw19	CH4 シフト設定値	RWw13	CH4 シフト設定値	

3.7 リモートバッファメモリ比較

CC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニット(CC-Link IEフィールドネットワーク通信モード)で使用する場合、配置が異なる、または使用できないリモートバッファメモリがあります。

Point ユニットパラメータは、エンジニアリングツールの「デバイス局のパラメータ処理」で設定することを推奨します。
 パラメータ設定をプログラムで行う場合は、マニュアルを参照し、パラメータ設定用のプログラムを修正してください。
 増設ユニットを置き換える際、パラメータ設定をプログラムで行う場合は、置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットに対して設定していたパラメータのうち、増設ユニットに関するもの(増設ユニット識別コードを含む)を初期化してください。

Point 基本ユニットを置き換える場合、プログラムで使用している置換え元ユニットのリモートバッファメモリを、置換え先ユニットのリモートバッファメモリに変更してください。この際、置換え先ユニットが2台であれば、両方のリモートバッファメモリを使用するようにプログラムを修正する必要があります。
 また、置換え元ユニット1台に対するモニタ、設定、制御について、置換え先ユニット2台それぞれで実施できるようにプログラムを変更してください。

基本A/D変換ユニット

モニタエリア						置換え時の留意点
置換え元		置換え先				
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8		NZ2GN2S-60AD4				
		1台目		2台目		置換え元はイニシャル設定要求フラグ(RY9)のOFF→ON→OFFにて、現在値でクリアされますが、置換え先は0クリアされます。 置換え元のCH5以降の最大値/最小値は、置換え先の2台目の最大値/最小値に変更してください。
アドレス	項目	アドレス	項目	アドレス	項目	
1536	CH1 最大値	1536	CH1 最大値	—	—	
1537	CH1 最小値	1537	CH1 最小値	—	—	
1538	CH2 最大値	1538	CH2 最大値	—	—	
1539	CH2 最小値	1539	CH2 最小値	—	—	
1540	CH3 最大値	1540	CH3 最大値	—	—	
1541	CH3 最小値	1541	CH3 最小値	—	—	
1542	CH4 最大値	1542	CH4 最大値	—	—	
1543	CH4 最小値	1543	CH4 最小値	—	—	
1544	CH5 最大値	—	—	1536	CH1 最大値	
1545	CH5 最小値	—	—	1537	CH1 最小値	
1546	CH6 最大値	—	—	1538	CH2 最大値	
1547	CH6 最小値	—	—	1539	CH2 最小値	
1548	CH7 最大値	—	—	1540	CH3 最大値	
1549	CH7 最小値	—	—	1541	CH3 最小値	
1550	CH8 最大値	—	—	1542	CH4 最大値	
1551	CH8 最小値	—	—	1543	CH4 最小値	
1552	レンジ設定モニタ(CH1~CH4)	1552	レンジ設定モニタ	—	—	
1553	レンジ設定モニタ(CH5~CH8)	—	—	1552	レンジ設定モニタ	

FA-D-0477-A

エラー履歴エリア

置換え元			置換え先						置換え時の留意点	
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8			NZ2GN2S-60AD4							
			1台目			2台目				
アドレス	項目		アドレス	項目		アドレス	項目			
2560	エラー履歴データ1	エラーコード	2560	エラー履歴データ1	エラーコード	2560	エラー履歴データ1	エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1	
2561		発生順No.	2561		発生順No.	2561		発生順No.		
2562		発生日時(西暦)	2562		発生日時(西暦)	2562		発生日時(西暦)		
2563		発生日時(月/日)	2563		発生日時(月/日)	2563		発生日時(月/日)		
2564		発生日時(時/分)	2564		発生日時(時/分)	2564		発生日時(時/分)		
2565		発生日時(秒/00H(固定))	2565		発生日時(秒/00H(固定))	2565		発生日時(秒/00H(固定))		
2566		CH1 デジタル演算値	—		—	—		—		プログラムで使用している場合は削除してください。
2567		CH2 デジタル演算値	—		—	—		—		
2568		CH3 デジタル演算値	—		—	—		—		
2569		CH4 デジタル演算値	—		—	—		—		
2570		CH5 デジタル演算値	—		—	—		—		
2571		CH6 デジタル演算値	—		—	—		—		
2572		CH7 デジタル演算値	—		—	—		—		
2573		CH8 デジタル演算値	—		—	—		—		
2574~2575		システムエリア	—		—	—		—		
2576~2591	エラー履歴データ2		2576~2591	エラー履歴データ2		2576~2591	エラー履歴データ2			置換え時の留意点はエラー履歴データ1を参照してください。
2592~2607	エラー履歴データ3		2592~2607	エラー履歴データ3		2592~2607	エラー履歴データ3			
2608~2623	エラー履歴データ4		2608~2623	エラー履歴データ4		2608~2623	エラー履歴データ4			
2624~2639	エラー履歴データ5		2624~2639	エラー履歴データ5		2624~2639	エラー履歴データ5			
2640~2655	エラー履歴データ6		2640~2655	エラー履歴データ6		2640~2655	エラー履歴データ6			
2656~2671	エラー履歴データ7		2656~2671	エラー履歴データ7		2656~2671	エラー履歴データ7			
2672~2687	エラー履歴データ8		2672~2687	エラー履歴データ8		2672~2687	エラー履歴データ8			
2688~2703	エラー履歴データ9		2688~2703	エラー履歴データ9		2688~2703	エラー履歴データ9			
2704~2719	エラー履歴データ10		2704~2719	エラー履歴データ10		2704~2719	エラー履歴データ10			
2720~2735	エラー履歴データ11		2720~2735	エラー履歴データ11		2720~2735	エラー履歴データ11			
2736~2751	エラー履歴データ12		2736~2751	エラー履歴データ12		2736~2751	エラー履歴データ12			
2752~2767	エラー履歴データ13		2752~2767	エラー履歴データ13		2752~2767	エラー履歴データ13			
2768~2783	エラー履歴データ14		2768~2783	エラー履歴データ14		2768~2783	エラー履歴データ14			
2784~2799	エラー履歴データ15		2784~2799	エラー履歴データ15		2784~2799	エラー履歴データ15			

*1 置換え先のユニット2台のリモートバッファメモリを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

ユニット制御データエリア

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60ADV8, NZ2GFCE-60ADI8		NZ2GN2S-60AD4				
		1台目		2台目		
アドレス	項目	アドレス	項目	アドレス	項目	
4096	エラー履歴クリア指令	4096	エラー履歴クリア指令	4096	エラー履歴クリア指令	*1
4097	エラー履歴クリア完了	4097	エラー履歴クリア完了	4097	エラー履歴クリア完了	
4098	パラメータエリア初期化指令	4098	パラメータエリア初期化指令	4098	パラメータエリア初期化指令	
4099	パラメータエリア初期化完了	4099	パラメータエリア初期化完了	4099	パラメータエリア初期化完了	

*1 置換え先のユニット2台のリモートバッファメモリを両方使用するように、プログラムを変更してください。

基本D/A変換ユニット

モニタエリア

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2S-60DA4				
		1台目		2台目		
アドレス	項目	アドレス	項目	アドレス	項目	
1536	レンジ設定モニタ(CH1~CH4)	1536	レンジ設定モニタ	—	—	—
1537	レンジ設定モニタ(CH5~CH8)	—	—	1536	レンジ設定モニタ	

エラー履歴エリア

置換え元		置換え先				置換え時の留意点		
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2S-60DA4						
		1台目		2台目				
アドレス	項目	アドレス	項目	アドレス	項目			
2560	エラー履歴データ1	エラーコード	2560	エラー履歴データ1	エラーコード	2560	エラー履歴データ1	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1
2561		発生順No.	2561	発生順No.	2561	発生順No.	*1	
2562		発生日時(西暦)	2562	発生日時(西暦)	2562	発生日時(西暦)		
2563		発生日時(月/日)	2563	発生日時(月/日)	2563	発生日時(月/日)		
2564		発生日時(時/分)	2564	発生日時(時/分)	2564	発生日時(時/分)		
2565		発生日時(秒/00H(固定))	2565	発生日時(秒/00H(固定))	2565	発生日時(秒/00H(固定))		
2566		CH1 デジタル値	—	—	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。	
2567		CH2 デジタル値	—	—	—	—		
2568		CH3 デジタル値	—	—	—	—		
2569		CH4 デジタル値	—	—	—	—		
2570		CH5 デジタル値	—	—	—	—		
2571		CH6 デジタル値	—	—	—	—		
2572		CH7 デジタル値	—	—	—	—		
2573		CH8 デジタル値	—	—	—	—		
2574~2575		システムエリア	—	—	—	—	—	

FA-D-0477-A

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2S-60DA4				
		1台目		2台目		
アドレス	項目	アドレス	項目	アドレス	項目	
2576~2591	エラー履歴データ2	2576~2591	エラー履歴データ2	2576~2591	エラー履歴データ2	置換え時の留意点はエラー履歴データ1を参照してください。
2592~2607	エラー履歴データ3	2592~2607	エラー履歴データ3	2592~2607	エラー履歴データ3	
2608~2623	エラー履歴データ4	2608~2623	エラー履歴データ4	2608~2623	エラー履歴データ4	
2624~2639	エラー履歴データ5	2624~2639	エラー履歴データ5	2624~2639	エラー履歴データ5	
2640~2655	エラー履歴データ6	2640~2655	エラー履歴データ6	2640~2655	エラー履歴データ6	
2656~2671	エラー履歴データ7	2656~2671	エラー履歴データ7	2656~2671	エラー履歴データ7	
2672~2687	エラー履歴データ8	2672~2687	エラー履歴データ8	2672~2687	エラー履歴データ8	
2688~2703	エラー履歴データ9	2688~2703	エラー履歴データ9	2688~2703	エラー履歴データ9	
2704~2719	エラー履歴データ10	2704~2719	エラー履歴データ10	2704~2719	エラー履歴データ10	
2720~2735	エラー履歴データ11	2720~2735	エラー履歴データ11	2720~2735	エラー履歴データ11	
2736~2751	エラー履歴データ12	2736~2751	エラー履歴データ12	2736~2751	エラー履歴データ12	
2752~2767	エラー履歴データ13	2752~2767	エラー履歴データ13	2752~2767	エラー履歴データ13	
2768~2783	エラー履歴データ14	2768~2783	エラー履歴データ14	2768~2783	エラー履歴データ14	
2784~2799	エラー履歴データ15	2784~2799	エラー履歴データ15	2784~2799	エラー履歴データ15	

*1 置換え先のユニット2台のリモートバッファメモリを両方使用するように、プログラムを変更してください。

ユニット制御データエリア

置換え元		置換え先				置換え時の留意点
NZ2GFCE-60DAV8, NZ2GFCE-60DAI8		NZ2GN2S-60DA4				
		1台目		2台目		
アドレス	項目	アドレス	項目	アドレス	項目	
4096	エラー履歴クリア指令	4096	エラー履歴クリア指令	4096	エラー履歴クリア指令	*1
4097	エラー履歴クリア完了	4097	エラー履歴クリア完了	4097	エラー履歴クリア完了	
4098	パラメータエリア初期化指令	4098	パラメータエリア初期化指令	4098	パラメータエリア初期化指令	
4099	パラメータエリア初期化完了	4099	パラメータエリア初期化完了	4099	パラメータエリア初期化完了	

*1 置換え先のユニット2台のリモートバッファメモリを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

増設A/D変換ユニット

Point

基本ユニットは置き換ええない想定で記載しています。
置き換えを検討される場合は、各マニュアルを参照してください。

モニタエリア

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	アドレス	項目	アドレス	項目	
基本ユニット	1537	CH1 最大値	—	—	—
	1538	CH1 最小値	—	—	
	1539	CH2 最大値	—	—	
	1540	CH2 最小値	—	—	
	1541	CH3 最大値	—	—	
	1542	CH3 最小値	—	—	
	1543	CH4 最大値	—	—	
	1544	CH4 最小値	—	—	
増設ユニット	1792	増設ユニット識別コード	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。 置換え元はイニシャル設定要求フラグ(RY9)のOFF→ON→OFFにて、現在値でクリアされますが、置換え先は0クリアされます。
	1793	CH1 最大値	1536	CH1 最大値	
	1794	CH1 最小値	1537	CH1 最小値	
	1795	CH2 最大値	1538	CH2 最大値	
	1796	CH2 最小値	1539	CH2 最小値	
	1797	CH3 最大値	1540	CH3 最大値	
	1798	CH3 最小値	1541	CH3 最小値	
	1799	CH4 最大値	1542	CH4 最大値	
	1800	CH4 最小値	1543	CH4 最小値	

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4, NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	アドレス	項目	アドレス	項目	
増設ユニット	1792	増設ユニット識別コード	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。 置換え元では、イニシャルデータ設定要求フラグ(RY9)のOFF→ON→OFFにより、現在値に更新されますが、置換え先では、OFF→ON→OFFにより、0クリアされます。
	1793	CH1 最大値	1536	CH1 最大値	
	1794	CH1 最小値	1537	CH1 最小値	
	1795	CH2 最大値	1538	CH2 最大値	
	1796	CH2 最小値	1539	CH2 最小値	
	1797	CH3 最大値	1540	CH3 最大値	
	1798	CH3 最小値	1541	CH3 最小値	
	1799	CH4 最大値	1542	CH4 最大値	
	1800	CH4 最小値	1543	CH4 最小値	

FA-D-0477-A

エラー履歴エリア

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先			置換え時の留意点		
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4					
1台目, 2台目			2台目					
機種	アドレス	項目	アドレス	項目				
基本ユニット	2560	エラー履歴データ1	エラーコード	2560	エラー履歴データ1	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1		
	2561		発生順No.	2561	発生順No.			
	2562		発生日時(西暦)	2562	発生日時(西暦)			
	2563		発生日時(月/日)	2563	発生日時(月/日)			
	2564		発生日時(時/分)	2564	発生日時(時/分)			
	2565		発生日時(秒/00H(固定))	2565	発生日時(秒/00H(固定))			
	2566		CH1 デジタル演算値	—	—		プログラムで使用している場合は削除してください。	
	2567		CH2 デジタル演算値	—	—			
	2568		CH3 デジタル演算値	—	—			
	2569		CH4 デジタル演算値	—	—			
	2570~2575		システムエリア	—	—		—	—
	2576~2591		エラー履歴データ2	2576~2591	エラー履歴データ2		置換え時の留意点はエラー履歴データ1を参照してください。	
	2592~2607		エラー履歴データ3	2592~2607	エラー履歴データ3			
	2608~2623		エラー履歴データ4	2608~2623	エラー履歴データ4			
	2624~2639		エラー履歴データ5	2624~2639	エラー履歴データ5			
2640~2655	エラー履歴データ6	2640~2655	エラー履歴データ6					
2656~2671	エラー履歴データ7	2656~2671	エラー履歴データ7					
2672~2687	エラー履歴データ8	2672~2687	エラー履歴データ8					
2688~2703	エラー履歴データ9	2688~2703	エラー履歴データ9					
2704~2719	エラー履歴データ10	2704~2719	エラー履歴データ10					
2720~2735	エラー履歴データ11	2720~2735	エラー履歴データ11					
2736~2751	エラー履歴データ12	2736~2751	エラー履歴データ12					
2752~2767	エラー履歴データ13	2752~2767	エラー履歴データ13					
2768~2783	エラー履歴データ14	2768~2783	エラー履歴データ14					
2784~2799	エラー履歴データ15	2784~2799	エラー履歴データ15					

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのリモートバッファメモリと、置換え先のユニットのリモートバッファメモリを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先			置換え時の留意点		
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4					
1台目, 2台目			2台目					
機種	アドレス	項目	アドレス	項目				
基本ユニット	2560	エラー履歴データ1	エラーコード	2560	エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1		
	2561		発生順No.	2561	発生順No.			
	2562		発生日時(西暦)	2562	発生日時(西暦)			
	2563		発生日時(月/日)	2563	発生日時(月/日)			
	2564		発生日時(時/分)	2564	発生日時(時/分)			
	2565		発生日時(秒/00H(固定))	2565	発生日時(秒/00H(固定))			
	2566		CH1 デジタル値	—	—		プログラムで使用している場合は削除してください。	
	2567		CH2 デジタル値	—	—			
	2568		CH3 デジタル値	—	—			
	2569		CH4 デジタル値	—	—			
	2570~2575		システムエリア	—	—		—	—
	2576~2591		エラー履歴データ2	2576~2591	エラー履歴データ2		置換え時の留意点はエラー履歴データ1を参照してください。	
	2592~2607		エラー履歴データ3	2592~2607	エラー履歴データ3			
	2608~2623		エラー履歴データ4	2608~2623	エラー履歴データ4			
	2624~2639		エラー履歴データ5	2624~2639	エラー履歴データ5			
2640~2655	エラー履歴データ6	2640~2655	エラー履歴データ6					
2656~2671	エラー履歴データ7	2656~2671	エラー履歴データ7					
2672~2687	エラー履歴データ8	2672~2687	エラー履歴データ8					
2688~2703	エラー履歴データ9	2688~2703	エラー履歴データ9					
2704~2719	エラー履歴データ10	2704~2719	エラー履歴データ10					
2720~2735	エラー履歴データ11	2720~2735	エラー履歴データ11					
2736~2751	エラー履歴データ12	2736~2751	エラー履歴データ12					
2752~2767	エラー履歴データ13	2752~2767	エラー履歴データ13					
2768~2783	エラー履歴データ14	2768~2783	エラー履歴データ14					
2784~2799	エラー履歴データ15	2784~2799	エラー履歴データ15					

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのリモートバッファメモリと、置換え先のユニットのリモートバッファメモリを両方使用するように、プログラムを変更してください。

ユニット制御データエリア

置換え元			置換え先			置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4, NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60AD4			NZ2GN2B-60AD4			
1台目, 2台目			2台目			
機種	アドレス	項目	アドレス	項目		
基本ユニット	4096	エラー履歴クリア指令	4096	エラー履歴クリア指令	—	
	4097	エラー履歴クリア完了	4097	エラー履歴クリア完了		
	4098	パラメータエリア初期化指令	4098	パラメータエリア初期化指令		
	4099	パラメータエリア初期化完了	4099	パラメータエリア初期化完了		
	4100	ユニット動作情報初期化指令	—	—		プログラムで使用している場合は削除してください。
	4101	ユニット動作情報初期化完了	—	—		

FA-D-0477-A

増設D/A変換ユニット

Point

基本ユニットは置き換ええない想定で記載しています。
置き換えを検討される場合は、各マニュアルを参照してください。

モニタエリア

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	アドレス	項目	アドレス	項目	
基本ユニット	1537	CH1 最大値	—	—	—
	1538	CH1 最小値	—	—	
	1539	CH2 最大値	—	—	
	1540	CH2 最小値	—	—	
	1541	CH3 最大値	—	—	
	1542	CH3 最小値	—	—	
	1543	CH4 最大値	—	—	
	1544	CH4 最小値	—	—	
増設ユニット	1792	増設ユニット識別コード	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先		置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4		
1台目, 2台目			2台目		
機種	アドレス	項目	アドレス	項目	
増設ユニット	1792	増設ユニット識別コード	—	—	プログラムで使用している場合は削除してください。

FA-D-0477-A

エラー履歴エリア

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60AD4に接続されている場合

置換え元			置換え先			置換え時の留意点		
NZ2GF2BN-60AD4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4					
1台目, 2台目			2台目					
機種	アドレス	項目	アドレス	項目				
基本ユニット	2560	エラー履歴データ1	エラーコード	2560	エラー履歴データ1	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1		
	2561		発生順No.	2561	発生順No.			
	2562		発生日時(西暦)	2562	発生日時(西暦)			
	2563		発生日時(月/日)	2563	発生日時(月/日)			
	2564		発生日時(時/分)	2564	発生日時(時/分)			
	2565		発生日時(秒/00H(固定))	2565	発生日時(秒/00H(固定))			
	2566		CH1 デジタル演算値	—	—		プログラムで使用している場合は削除してください。	
	2567		CH2 デジタル演算値	—	—			
	2568		CH3 デジタル演算値	—	—			
	2569		CH4 デジタル演算値	—	—			
	2574~2575		システムエリア	—	—		—	—
	2576~2591		エラー履歴データ2	2576~2591	エラー履歴データ2		置換え時の留意点はエラー履歴データ1を参照してください。	
	2592~2607		エラー履歴データ3	2592~2607	エラー履歴データ3			
	2608~2623		エラー履歴データ4	2608~2623	エラー履歴データ4			
	2624~2639		エラー履歴データ5	2624~2639	エラー履歴データ5			
2640~2655	エラー履歴データ6	2640~2655	エラー履歴データ6					
2656~2671	エラー履歴データ7	2656~2671	エラー履歴データ7					
2672~2687	エラー履歴データ8	2672~2687	エラー履歴データ8					
2688~2703	エラー履歴データ9	2688~2703	エラー履歴データ9					
2704~2719	エラー履歴データ10	2704~2719	エラー履歴データ10					
2720~2735	エラー履歴データ11	2720~2735	エラー履歴データ11					
2736~2751	エラー履歴データ12	2736~2751	エラー履歴データ12					
2752~2767	エラー履歴データ13	2752~2767	エラー履歴データ13					
2768~2783	エラー履歴データ14	2768~2783	エラー履歴データ14					
2784~2799	エラー履歴データ15	2784~2799	エラー履歴データ15					

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのリモートバッファメモリと、置換え先のユニットのリモートバッファメモリを両方使用するように、プログラムを変更してください。

FA-D-0477-A

■増設ユニットがNZ2GF2BN-60DA4に接続されている場合

置換え元			置換え先			置換え時の留意点	
NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4				
1台目, 2台目			2台目				
機種	アドレス	項目	アドレス	項目			
基本ユニット	2560	エラー履歴データ1	エラーコード	2560	エラーコード	格納されるエラーコードが異なります。詳細はマニュアルを参照してください。*1	
	2561		発生順No.	2561	発生順No.		
	2562		発生日時(西暦)	2562	発生日時(西暦)		
	2563		発生日時(月/日)	2563	発生日時(月/日)		
	2564		発生日時(時/分)	2564	発生日時(時/分)		
	2565		発生日時(秒/00H(固定))	2565	発生日時(秒/00H(固定))		
	2566		CH1 デジタル値	—	—		プログラムで使用している場合は削除してください。
	2567		CH2 デジタル値	—	—		
	2568		CH3 デジタル値	—	—		
	2569		CH4 デジタル値	—	—		
	2574~2575		システムエリア	—	—	—	
	2576~2591	エラー履歴データ2	2576~2591	エラー履歴データ2	置換え時の留意点はエラー履歴データ1を参照してください。		
	2592~2607	エラー履歴データ3	2592~2607	エラー履歴データ3			
	2608~2623	エラー履歴データ4	2608~2623	エラー履歴データ4			
	2624~2639	エラー履歴データ5	2624~2639	エラー履歴データ5			
2640~2655	エラー履歴データ6	2640~2655	エラー履歴データ6				
2656~2671	エラー履歴データ7	2656~2671	エラー履歴データ7				
2672~2687	エラー履歴データ8	2672~2687	エラー履歴データ8				
2688~2703	エラー履歴データ9	2688~2703	エラー履歴データ9				
2704~2719	エラー履歴データ10	2704~2719	エラー履歴データ10				
2720~2735	エラー履歴データ11	2720~2735	エラー履歴データ11				
2736~2751	エラー履歴データ12	2736~2751	エラー履歴データ12				
2752~2767	エラー履歴データ13	2752~2767	エラー履歴データ13				
2768~2783	エラー履歴データ14	2768~2783	エラー履歴データ14				
2784~2799	エラー履歴データ15	2784~2799	エラー履歴データ15				

*1 置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットのリモートバッファメモリと、置換え先のユニットのリモートバッファメモリを両方使用するように、プログラムを変更してください。

ユニット制御データエリア

置換え元			置換え先			置換え時の留意点
NZ2GF2BN-60AD4, NZ2GF2BN-60DA4 NZ2EX2B-60DA4			NZ2GN2B-60DA4			
1台目, 2台目			2台目			
機種	アドレス	項目	アドレス	項目		
基本ユニット	4096	エラー履歴クリア指令	4096	エラー履歴クリア指令	—	
	4097	エラー履歴クリア完了	4097	エラー履歴クリア完了		
	4098	パラメータエリア初期化指令	4098	パラメータエリア初期化指令		
	4099	パラメータエリア初期化完了	4099	パラメータエリア初期化完了		
	4100	ユニット動作情報初期化指令	—	—		プログラムで使用している場合は削除してください。
	4101	ユニット動作情報初期化完了	—	—		

4 ユニット置換え手順

ユニット置換え手順を下記に示します。

操作手順	内容
1. ユニットパラメータの保存	ユニットパラメータのエクスポートを実施します。 詳細は、置き換えるユニットのマニュアルを参照ください。
2. IPアドレス/局番設定スイッチの設定	交換後のユニットの局番を設定します。 ☞ 48ページ IPアドレス/局番設定スイッチによる局番設定
3. 機能設定スイッチの設定	交換後のユニットの機能設定スイッチを設定します。 ☞ 49ページ 機能設定スイッチによる機能設定
4. ユニット交換	ユニットを交換してください。 取付け/取外しの手順は、置き換えるユニットのマニュアルを参照してください。
5. ケーブルの再配線	ユニットの電源, Ethernetケーブル, 外部機器を再配線します。 ☞ 50ページ ケーブルの再配線
6. パラメータとプログラムの変更	エンジニアリングツールを使用し, パラメータとプログラムを変更します。 ☞ 50ページ パラメータとプログラムの変更
7. 制御再開	ユニットのLED状態を確認した後, 制御を再開してください。 (RUN LED, D LINK LEDが点灯, ERR. LEDが消灯している状態であること)

4.1 IPアドレス/局番設定スイッチによる局番設定

局番設定値について

局番は、他局と競合しない値を設定する必要があります。

基本ユニット(8チャンネル)を基本ユニット(4チャンネル)2台で置き換える場合は、下記を設定してください。

- ・ 1台目: 置換え元の局番を設定してください。
- ・ 2台目: 他局と競合しない局番を設定してください。

増設ユニットを基本ユニットに置き換える場合は、置換え先に他局と競合しない局番を設定してください。

IPアドレス/局番設定スイッチ比較

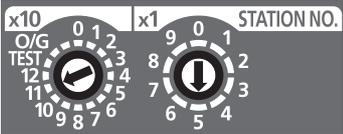
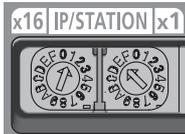
ユニット前面のIPアドレス/局番設定スイッチで局番を設定します。

CC-Link IEフィールドネットワークA/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットでは10進数のスイッチで設定していましたが、

CC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットでは16進数のスイッチで設定します。

局番は電源投入時に設定値が有効になるため、電源OFFの状態を設定してください。

CC-Link IEフィールドネットワークA/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットの局番設定スイッチとCC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットのIPアドレス/局番設定スイッチの設定をそれぞれ下記に示します。

CC-Link IEフィールドネットワークA/D変換ユニットおよびD/A変換ユニット	CC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニット
局を115に設定する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ x10は、局番の100および10の位を設定します。 ・ x1は、局番の1の位を設定します。 	局を30に設定する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ x1とx16(16進数)の組合わせで設定します。 ・ 局番(10進数)に対するスイッチの設定は下記を参照してください。
	

FA-D-0477-A

IPアドレス/局番スイッチの設定

CC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットでのIPアドレス/局番スイッチの設定について説明します。
x1とx16(16進数)の組合わせ一覧を下記に示します。

1~120の値を設定してください。範囲外の値を設定した場合、エラーが発生し、DATA LINK LEDが点滅します。

		x1															
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
x16	0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	1	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	2	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	3	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
	4	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
	5	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
	6	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111
	7	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127
	8	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143
	9	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159
	A	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175
	B	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191
	C	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207
	D	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223
	E	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239
	F	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255

4.2 機能設定スイッチによる機能設定

ユニット前面の機能設定スイッチで機能の設定をします。

CC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニットの機能設定スイッチを下記のように設定してください。

スイッチ名称		設定値	機能名
機能設定スイッチ1	NETWORK	ON	ネットワーク設定機能
機能設定スイッチ2	RANGE ON/OFF	OFF	入力レンジスイッチ有効/無効設定 レンジ切換え機能
機能設定スイッチ3	RANGE CH1	OFF	
機能設定スイッチ4		OFF	
機能設定スイッチ5	RANGE CH2	OFF	
機能設定スイッチ6		OFF	
機能設定スイッチ7	RANGE CH3	OFF	
機能設定スイッチ8		OFF	
機能設定スイッチ9	RANGE CH4	OFF	
機能設定スイッチ10		OFF	

FA-D-0477-A

4.3 ケーブルの再配線

ケーブルを取りはずしてから、置換え機種に再配線してください。
 ケーブルの取りはずし方法については、各ユニットのマニュアルを参照してください。

4.4 パラメータとプログラムの変更

ネットワーク構成設定の変更

置換えするユニットの形名ごとにプロファイルが必要なため、プロファイルを変更してください。
 置換え先によって置換え手順が異なります。それぞれ下記を参照してください。

CC-Link IEフィールドネットワークA/D変換ユニットおよびD/A変換ユニット機種		CC-Link IE TSN A/D変換ユニットおよびD/A変換ユニット機種		参照先
形名	局種別	形名	局種別	
NZ2GFCE-60ADV8	リモートデバイス局	NZ2GN2S-60AD4 2台	リモートデバイス局	51ページ 基本ユニット(8CH)を基本ユニット(4CH)2台に置き換える場合
NZ2GFCE-60ADI8	リモートデバイス局	NZ2GN2S-60AD4 2台	リモートデバイス局	
NZ2GFCE-60DAV8	リモートデバイス局	NZ2GN2S-60DA4 2台	リモートデバイス局	
NZ2GFCE-60DAI8	リモートデバイス局	NZ2GN2S-60DA4 2台	リモートデバイス局	
NZ2EX2B-60AD4	リモートデバイス局	NZ2GN2B-60AD4	リモートデバイス局	52ページ 増設ユニット(4CH)を基本ユニット(4CH)1台に置き換える場合
NZ2EX2B-60DA4	リモートデバイス局	NZ2GN2B-60DA4	リモートデバイス局	

FA-D-0477-A

基本ユニット(8CH)を基本ユニット(4CH)2台に置き換える場合

1. マスタ局の[ネットワーク構成設定]から[CC IE Field構成]ウィンドウを開きます。



2. 置換え先のユニットを追加します。



3. 局番の変更, RX/RV設定, RWw/RWr設定をします。置換え先の局番は, 1台目は置換え元と同じ局番を設定し, 2台目は他局と競合しない局番を設定します。“RX/RV設定”と“RWw/RWr設定”は, 1台目の先頭は置換え元のユニットに設定し, 2台目については, 割付けの競合がない箇所に設定を行ってください。



Point

置換え元の基本ユニット(8チャンネル)1台に対し, 置換え先の基本ユニット(4チャンネル)2台では, 必要なRX/RVおよびRWw/RWrの割付け点数が大きくなります。そのため, 置換え元の割付けの配置と同じ箇所に置換え先の2台分の割付けをすることができず, 2台目の配置を置換え元とは異なる場所に配置する必要があります。

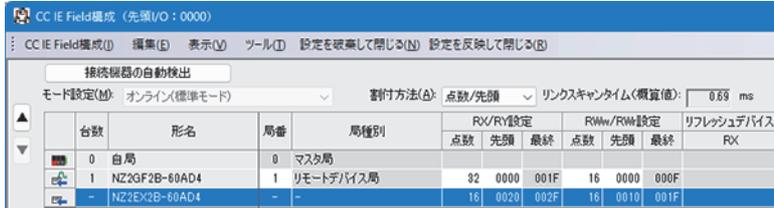
置換え元			置換え先		
形名	台数	点数(デフォルト点数)	形名	台数	点数(デフォルト点数)
NZ2GFCE-60ADV8	1台	RX/RV: 48点 RWw/RW: 24点	NZ2GN2S-60AD4	2台	RX/RV: 合計64点(1台あたり32点) RWw/RW: 合計32点(1台あたり16点)
NZ2GFCE-60DAV8	1台	RX/RV: 32点 RWw/RW: 24点	NZ2GN2S-60DA4	2台	RX/RV: 合計64点(1台あたり32点) RWw/RW: 合計64点(1台あたり32点)

4. 置換え元の局を削除します。



増設ユニット(4CH)を基本ユニット(4CH)1台に置き換える場合

1. マスタ局の[ネットワーク構成設定]から[CC IE Field構成]ウィンドウを開きます。



2. 置換え先のユニットを追加します。



3. 局番の変更, RX/RV設定, RWw/RW設定をします。置換え先の“局番”, “RX/RV設定”, “RWw/RW設定”は, 割付けの競合がない箇所に設定を行ってください。

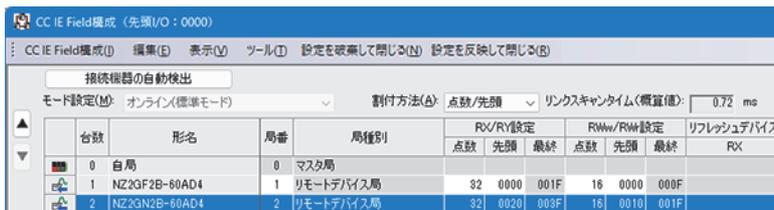


Point

置換え元の増設ユニットに対し, 置換え先の基本ユニットでは必要なRX/RV, RWw/RWの割付け点数が大きくなる場合があります。その場合, 置換え元の割付けの配置と同じ箇所に置換え先の割付けをすることができず, 置換え元とは異なる場所に配置する必要があります。

置換え元			置換え先		
形名	台数	点数(デフォルト点数)	形名	台数	点数(デフォルト点数)
NZ2EX2B-60AD4	1台	RX/RV: 16点 RWw/RW: 16点	NZ2GN2B-60AD4	1台	RX/RV: 32点 RWw/RW: 16点
NZ2EX2B-60DA4	1台	RX/RV: 16点 RWw/RW: 16点	NZ2GN2B-60DA4	1台	RX/RV: 32点 RWw/RW: 32点

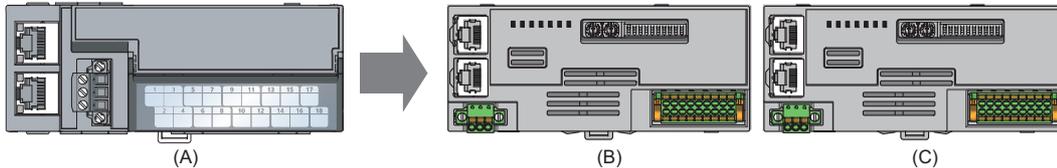
4. 置換え元の局を削除します。



ユニットパラメータの変更

基本ユニット(8CH)を基本ユニット(4CH)2台に置き換える場合

置換え先の基本ユニット2台にパラメータを設定する必要があります。

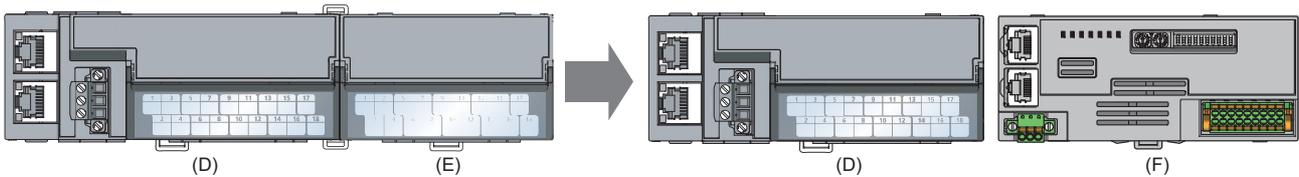


ユニット(A)のCH1~CH4のパラメータをユニット(B)に、CH5~CH8のパラメータをユニット(C)に設定するようにしてください。

ユニット(A)で、iQ Sensor Solution対応バックアップ/リストア機能を使用している場合は、ユニット(B) + (C)の2台で新たにバックアップを実施してください。

増設ユニット(4CH)を基本ユニット(4CH)1台に置き換える場合

増設ユニットの置換え先となる基本ユニットと、置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニットの2台にパラメータを設定する必要があります。



■増設ユニットの置換え先となる基本ユニット(ユニット(F))

ユニット(E)のCH1~4のパラメータを、ユニット(F)に設定してください。

■置換え元の増設ユニットが接続されていた基本ユニット(ユニット(D))

置換え元と同一のパラメータを再度設定してください。

Point

- ユニット(D)には、増設ユニットを使用するためのパラメータが保存されています。そのため、増設ユニットを取り外すときは、その設定を初期化する必要があります。設定を初期化しなかった場合、エラー(増設ユニットパラメータ異常)が発生します。
- プログラムでパラメータを設定している場合、ユニット(D)に対して、ユニット単位パラメータの増設ユニット1のエリア(増設ユニット識別コードを含む)を初期値とするようにパラメータを変更してください。

ユニット(D)で、iQ Sensor Solution対応バックアップ/リストア機能を使用している場合は、ユニット(D)とユニット(F)の双方で新たにバックアップを実施してください。

プログラムの変更

リンクデバイスのリモート入出力信号(RX, RY), リモートレジスタ(RWr, RWw), リモートバッファメモリについて, 配置(デバイスNo.)が異なる場合や, 置換え元と置換え先で存在するが仕様が異なる, または使用できないものがありますので, プログラムの修正が必要な場合があります。

特に, 基本ユニットを置き換える場合, 置換え元のユニット1台に対するモニタ, 設定, 制御について, 置換え先のユニット2台それぞれで実施するようにプログラムを修正する必要があります。

同様に, 増設ユニットを置き換える場合, 置換え元に増設ユニットが接続されていた基本ユニットの中の増設ユニットに対するモニタ, 設定, 制御について, 置換え先の基本ユニットに対して実施するようにプログラムを修正する必要があります。

Point

特に, D/A変換ユニットのRWwの「CH \square デジタル値」($\square=1\sim 8$)は, 出力レンジによっては設定可能範囲(実用範囲)が異なる場合があります。同じ設定値に対して異なるアナログ出力値になる場合があるため注意してください。

その他のデバイスの置換え時の留意点は以下を参照ください。

☞ 16ページ リンクデバイス比較(RX, RY, RWr, RWw)

☞ 37ページ リモートバッファメモリ比較

改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
A	2026年1月	初版

商標

本文中における会社名, システム名, 製品名などは, 一般に各社の登録商標または商標です。

本文中で, 商標記号(™, ®)は明記していない場合があります。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-2606
関東機器営業部	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命新潟ビル)	(025) 241-7227
神奈川機器営業部	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区大通西3-11 (北洋ビル)	(011) 212-3792
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA

検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー
登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

仕様・機能に関するお問い合わせ

製品ごとにお問い合わせを受け付けております。
三菱電機FAサイト - 仕様・機能に関するお問い合わせ
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/contact-us/spec/

